

4 厚木市教育充実プラン主要事業の 点検・評価

基本方針別事業一覧

基本方針1 「確かな学力」を身に付ける教育を推進します。

- ① 小学校児童支援推進事業
- ② 中学校少人数学級実施事業
- ③ 元気アップスクール推進事業交付金（小学校）
- ④ 元気アップスクール推進事業交付金（中学校）
- ⑤ 教育活動充実交付金（小学校）
- ⑥ 教育活動充実交付金（中学校）
- ⑦ 小中一貫教育推進事業
- ⑧ 小学校「あつぎ元気塾」実施事業
- ⑨ 学カステップアップ支援員派遣事業
- ⑩ 外国語指導助手配置事業
- ⑪ 厚木市SEL教育基金事業
- ⑫ 小学校ICT化推進事業
- ⑬ 中学校ICT化推進事業
- ⑭ 小学校保護者負担軽減事業
- ⑮ 中学校保護者負担軽減事業



基本方針2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。

- ① 青少年教育相談事業
- ② 登校支援推進事業
- ③ 適応指導教室運営事業
- ④ 郷土資料館活動推進事業
- ⑤ ブックスタート事業
- ⑥ 子ども読書活動推進事業



基本方針3 教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、信頼される学校づくりを推進します。

- ① 教職員研修事業
- ② 先生のための研修事業
- ③ 教育調査研究部会運営事業
- ④ 教育資料提供事業



基本方針4 課題やニーズに対応した教育環境の整備・充実を図ります。

- ① 小学校校舎・体育館改修事業
- ② 中学校校舎・体育館改修事業
- ③ 小学校教室冷暖房設備設置事業
- ④ 小学校校舎等整備事業
- ⑤ 小学校校庭整備事業
- ⑥ 中学校校庭整備事業
- ⑦ 児童・生徒登下校等安全推進事業
- ⑧ 要保護及び準要保護児童就学援助事業
- ⑨ 要保護及び準要保護生徒就学援助事業
- ⑩ 小学校特別支援学級等就学奨励事業
- ⑪ 中学校特別支援学級就学奨励事業
- ⑫ 就学指導事業
- ⑬ 特別支援教育推進事業
- ⑭ 外国籍児童・生徒等支援事業
- ⑮ 学校支援プロジェクト推進事業
- ⑯ 厚木南公民館新築事業
- ⑰ 厚木南公民館新築整備事業
- ⑱ 公民館図書室オンライン・ネットワーク整備事業
- ⑲ 図書館整備事業



基本方針5 教育の原点である家庭教育を支援します。

- ① 家庭教育学級交付金
- ② 家庭教育情報提供事業
- ③ 「早寝早起き朝ごはん」啓発推進事業
- ④ 地域ぐるみ家庭教育支援事業



基本方針 6 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。

- ① 青少年非行防止活動事業



基本方針 7 スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。

- ① 市民スポーツ活動推進事業
② あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金
③ スポーツ振興基金積立金
④ 市民体力向上推進事業
⑤ スポーツ推進委員養成事業
⑥ 競技団体選手強化事業交付金
⑦ 全国大会等出場奨励事業
⑧ 体育施設整備事業
⑨ 青少年広場整備事業
⑩ 公共用地取得事業特別会計繰出金
⑪ 公民館活動事業
⑫ 市史編さん事業
⑬ 郷土芸能事業
⑭ (仮称) あつぎ郷土資料館建設事業



基本方針 8 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。

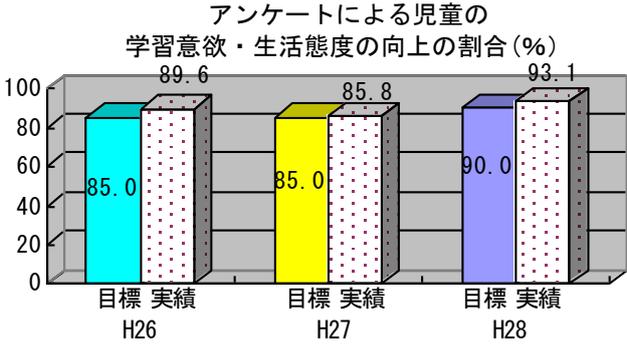
- ① 人権教育・啓発推進事業



基本方針 1 「確かな学力」を身に付ける教育を推進します。

1-①	小学校児童支援推進事業	【教職員課】
	事業概要	不登校やいじめ、問題行動などに対してきめ細かな対応ができるように、市立小学校に非常勤講師を派遣します。
	平成 28 年度実績	派遣人数 18 人

成果指標



成果と課題・今後の取組等

非常勤講師の派遣により、児童指導担当教員などの授業時数を軽減することで、いじめや問題行動、不登校などに対してきめ細かな対応ができました。

今後も、落ち着いた学校生活や学力の向上を図るため、事業を継続していきます。

委員からの意見

- ・児童・生徒一人一人に確かな学力を着実に身に付けさせるには、人材確保が切実な課題です。非常勤講師や支援員の派遣には予算が掛かりますが、厚木市独自の自慢できる施策です。今後も継続していただきたいと思えます。
- ・一人一人に光を当て目を向けて、学力の向上はもとより、有意義な学校生活が送れるよう、非常勤講師が活躍されていることに感銘を受けました。
- ・登校時だけでなく、下校後に起きた児童指導に関わる問題にも学校の対応が求められることが多くあります。問題を事前に察知したり、問題発生後速やかに対応したりするためには、担任以外に比較的自由に動くことが可能な児童指導担当や教育相談コーディネーターの存在が重要です。そのため、本事業は児童に関わる問題が大きくなる前に速やかに解決する上で重要です。規模の小さい学校に特に必要な事業と考えます。
- ・児童指導担当や教育相談コーディネーターの指導する時間の補充とともに、担任の授業時数の補充として指導に当たることも認められていることから、国の教職員定数改善計画が教職員数をできるだけ減らさないというイメージの働き方改革、子どもに向き合う時間の確保などの視点と、指導内容が増加する中で学習内容を理解させるための手段として期待できる施策であるため、是非継続すべきと考えます。
- ・非常勤講師が派遣されることで、学校では、児童指導担当・教育相談コーディネーターの自由となる時間が確保され、全児童に対して今まで以上にきめ細かな対応ができるようになってきました。アンケート結果からは、学習意欲・生活態度の向上の割合が大きく向上しており、数値からも成果が上がっていることが実証されています。これからは、より学校現場が柔軟に活用できる配置の検討を希望します。



事業概要

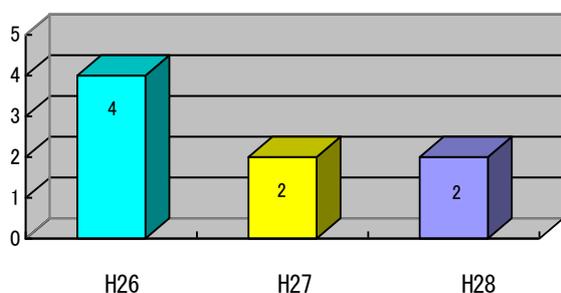
小学校と中学校の教育を円滑に接続させるため、中学校1年生の35人以下学級をモデル校で実施し、きめ細かな指導を行うことにより、学力の向上や問題行動と不登校の減少を図るため、市立中学校に非常勤講師を派遣します。

平成28年度実績

派遣人数 2人

過去3年の実績

中学校への非常勤講師の派遣人数(人)



成果と課題・今後の取組等

非常勤講師の派遣により、中学校1年生の35人学級編製の体制が整い、きめ細かな教科指導と、問題行動の早期発見や対応をすることができました。

今後も、落ち着いた学校生活や学力の向上を図るため、事業を継続していきます。

委員からの意見

- ・児童・生徒一人一人に確かな学力を着実に身に付けさせるには、人材確保が切実な課題です。非常勤講師や支援員の派遣には予算が掛かりますが、厚木市独自の自慢できる施策です。今後も継続していただきたいと思えます。
- ・中学生になると、小学生の頃より一人でも多くの大人が関わってあげることが大切です。良識ある指導者の存在や指導、激励は、生徒にとって一生の思い出になるかもしれません。現場にあっては苦勞も多いと思えますが、これからも変わらぬ指導を希望します。
- ・非常勤講師が派遣されることで、質の高い教科指導とよりきめ細かな対応ができるようになってきました。中学校卒業後の個々に応じた進路を決定する上でも価値が高いと思えますので、現場に適した人材の配置の検討を希望します。
- ・中学校1年生の「中学校生活の基礎を築く」ためには、一人一人の生徒としっかり向き合うきめ細かな指導が重要です。他地区に先駆けてこの事業を展開していることを高く評価したいと思えます。俗に「中一ギャップ」解消と言われますが、生徒の状況は深刻なものがあると思えます。是非継続・拡大を求めます。

1-③④ 元気アップスクール推進事業交付金(小学校・中学校)【教育指導課】



事業概要

市立小・中学校が、地域との絆を大切にした特色ある学校づくりを推進し、子どもたちの「生きる力」を育むことを目的に、各校の重要課題や新たな課題などへの対応を図るため、各校からの申請に基づき必要な経費を交付します。

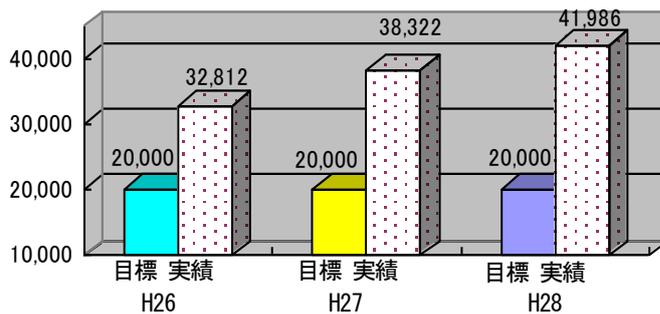
平成 28 年度実績

交付校 市立小・中学校全 36 校

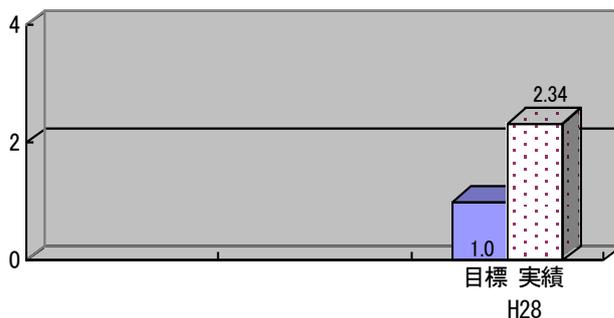
ボランティアなど来校者数 41,986 人

成果指標

地域人材や講師などの来校者数(人)
(小・中学校合計)



地域人材や講師などが児童・生徒一人に対して
関わる人数(人)(小・中学校合計)



成果と課題・今後の取組等

学習支援や読書のボランティアなどの活動を通して、児童・生徒の学習意欲の向上を図ることができました。

また、地域の協力を得て、各学校の特色ある事業展開を推進することができました。

今後も、特色ある学校づくりのために事業を実施します。

委員からの意見

・学校教育は、社会的な視点を持って進めていかなければなりません。学校がある地域との連携や地域の方々の力、また、広く人材を求め、校内では学ぶことのできないことを積極的に求めていく必要があると思います。広く社会的な視野を持って教育を創造していくためにも、大変評価できる事業であると思います。ある地域では、予算不足のため大変困っている様子も聞いています。

・小・中学校が特色ある事業を展開するための財源確保は今後も継続を望みます。昨年度も要望しましたが、各学校の事業報告書を一読できる機会をもらいたいです。

・地域と連携した特色ある学校づくりは、保護者も巻き込むことができ、学校を中心にした地域発展の活力になると思います。それぞれの学校で状況や環境が変わると思いますが、これからも支援を続けてもらえるよう希望します。

・昨年度の点検・評価委員会でも、委員から継続を望む声が大きかった事業であり、教育環境日本一を象徴している事業と言えると考えています。是非継続を望みます。しかし、事業内容の説明と成果指標とがややずれているようにも感じます。「特色ある学校づくりの推進」「生きる力の育成」がキーワードだと考えますが、地域人材・講師の人数、それらの方が子どもに関わる人数の割合では間接的な印象を受けます。この事業の幅広さが成果指標の設定を難しくしていると思いますが、改めて再考を希望します。

・地域との絆を大切にした特色ある学校づくりに資する活動を、積極的に進めることが可能となる大切な事業です。学校への来校者数が昨年度と比べて着実に増えているようです。同じ人に繰り返し来てもらうことも大切ですが、より多くの方が来校してもらえるよう、今後とも現場で使いやすいシステムを目指していただけるよう希望します。



事業概要

市立小・中学校がより良い教育活動の実践や特色ある学校づくりを推進するための研究活動を行うために、交付金を交付します。

平成 28 年度実績

交付校 市立小・中学校全 36 校

成果と課題・今後の取組等

各学校の特色ある事業展開や教員の資質向上に資する研究活動を推進することができました。今後も、地域との連携・信頼関係を基盤とした各学校の教育の質の向上のため、事業を推進します。

委員からの意見

・児童・生徒に求められる「確かな学力」とは、教師に当てはめれば、「確かな指導力」となるでしょう。「指導力」と一言で言ってしまうえば簡単ですが、指導力にはそれを裏付ける人間的な魅力も必要です。教師の多忙化が問題となる中、先生方の研修もままならないようでは、良い教育はできないでしょう。先生方の幅広い指導力を育てるためにも、必要な事業だと思います。事業の継続・拡大を是非希望します。

・教師にとって、研修と自己研さんは欠かせません。特に、教育課題が満載の現代は、教師のたゆまない努力が子どもたちの幸せに直接つながると言っても過言ではありません。学校現場では、教師が自己研さんを行いやすい環境づくりにつながるこの事業に感謝しています。引き続き、本事業の継続を希望します。



事業概要

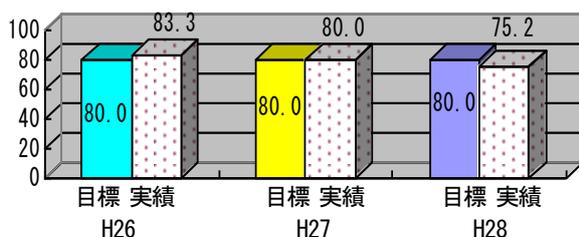
義務教育9年間を見通した教育課程の編成と指導の工夫改善のため、中学校区での研修を行います。また、児童の中学校に対する不安を和らげるために、教員が市立小・中学校での授業を兼務することを円滑に行うため、中学校に非常勤講師を派遣します。

平成28年度実績

市立13中学校区全てで小中合同研修会を実施
相川中学校、依知中学校に非常勤講師を配置

成果指標

児童へのアンケートによる中学校入学
に対する期待度(%)



成果と課題・今後の取組等

各中学校区で実施した研修会では、児童・生徒の学力向上のため、授業改善に向けた内容や効果的な小中連携に関する内容など、地域や学校の実態に即したテーマを設定し実施できました。

今後は、目指す子ども像の共有などを含め、小中一貫教育と呼ぶに相応しい取組を進めるために事業を推進します。

委員からの意見

- ・児童・生徒一人一人に確かな学力を着実に身に付けさせるには、人材確保が切実な課題です。非常勤講師や支援員の派遣には予算が掛かりますが、厚木市独自の自慢できる施策です。今後も継続していただきたいと思えます。
- ・小中連携、一貫教育とは、シンプルで時代に即したとても良い取組だと感じました。より一層取組が充実していけるよう期待しています。
- ・小中一貫教育、9年間を見通した教育課程については、なかなか小・中学校の連携が難しいのではないのでしょうか。基本となるのは小中教員の相互理解だと思います。様々な学校の取組は、成果も上げているようです。この事業の継続を希望します。学校によっては、「兼務」により、中学校の先生が、小学校で教えることもしていますが、学校の職員体制によって、教科が決まるようです。是非つまずきの多い数学や英語など、戦略的な兼務をできるようにしてはどうでしょうか。
- ・各中学校区で行う研修会は、小中連携の必要性の高まりから、地域や学校の実態に即したテーマを設定して大きな成果を上げています。また、小・中学校の教師が異校種間で行き来することは、お互いをより理解し合うという絶大な効果があります。しかし、平成28年度の実績値は、目標値と前年度実績値から下回っています。原因を究明するとともに、スクールカウンセラーによる小中連携の強化や非常勤講師配置の拡大を検討してほしいと思えます。



事業概要

放課後の教室などを利用し、市立小学校3年生の児童に国語及び算数の基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るため、復習を中心とした個別の学習指導を行うあつぎ元気塾講師を配置します。

平成 28 年度実績

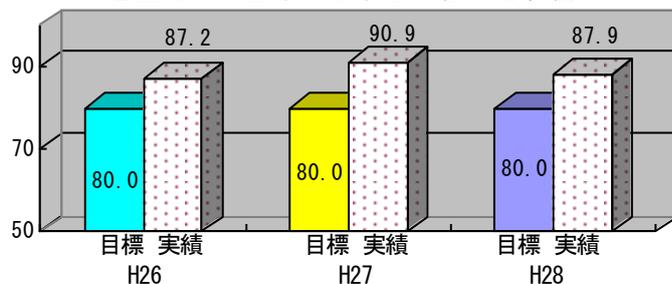
実施校 市立小学校 22 校（相川小を除く）

受講児童数 875 人

講師数 34 人（延べ 65 人を配置）

成果指標

児童へのアンケートによる児童の学習意欲の向上
と基礎的・基本的な学習内容の定着度（％）



成果と課題・今後の取組等

週1回、隔週で開催し、プリント学習を中心に学習を進め、学習習慣の確立や基礎的・基本的な内容の定着が図られました。

今後は、さらなる基礎的・基本的な学力の定着を図るため、タブレット端末を使ったドリル学習を中心とした「あつぎICT元気塾」を開催し、児童一人一人の実態に応じたきめ細かな学習指導を実施します。

委員からの意見

・学習内容が難しくなる小学校3・4年生に、補充学習を行うことはとても意義深いものです。参加している子どもの中には、保護者の意向による児童もいますが、多くの児童が主体的に学習に臨めるようになっていきます。対象学年を拡大できるものであれば、4年生にも広げてほしいと思います。



事業概要

充実した教育活動を推進するため、市立小学校に学カステップアップ支援員（小学校）を派遣し、学級担任の補助及び学習支援を行います。

また、中学校1年生では、数学と英語を中心に側面から支援する学カステップアップ支援員（中学校）を派遣し、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を通して、学ぶ意欲を育てるとともに、学力の向上を図ります。

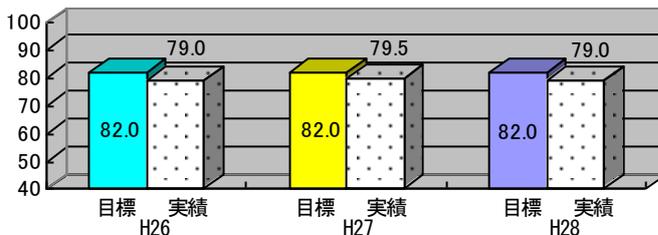
平成28年度実績

実施校 市立小・中学校全36校

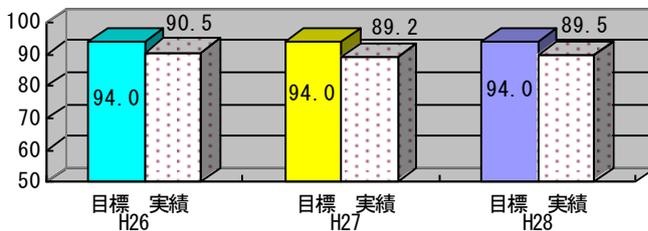
派遣人数 小学校36人、中学校39人

成果指標

児童・生徒の学習意欲の向上の割合(%)



児童・生徒の学習理解度の割合(%)



成果と課題・今後の取組等

児童・生徒一人一人の学習状況に応じたきめ細かな支援を行い、基礎的・基本的な知識や技能の習得及び学習意欲の向上が図られました。

今後も、児童・生徒個々の状況やニーズに合った、きめ細かな支援を行い、知識や技能の習得及び学習意欲の更なる向上を目指し、各学校の状況に応じた環境を整備します。

委員からの意見

・アンケート結果などから、児童・生徒の評判は良いと聞きます。分からないことを傍らで丁寧に教えてもらえるという安心感があるのだと思います。予算の関係で若干配置が減っているようですが、是非継続・拡大を望みます。また、教科だけでなく、特別支援学級や学校行事などでの活躍も期待します。

・児童・生徒一人一人に確かな学力を着実に身に付けさせるには、人材確保が切実な課題です。非常勤講師や支援員の派遣には予算が掛かりますが、厚木市独自の自慢できる施策です。今後も継続していただきたいと思います。

・学カステップアップ支援員が、個別支援が必要な児童・生徒に寄り添うことは、基礎的・基本的な知識や技能の習得、ひいては、学習意欲の向上につながり、大きな成果を上げています。できれば、小学校3・4年生への拡大や昼休み時間での支援など、より学校現場が柔軟に活用できる配置をお願いしたいと思います。



事業概要

国際理解の素地を培い、コミュニケーション活動を中心とした英語教育の推進を図るため、市立小・中学校に英語を母語とする外国語指導助手（A L T）を配置します。

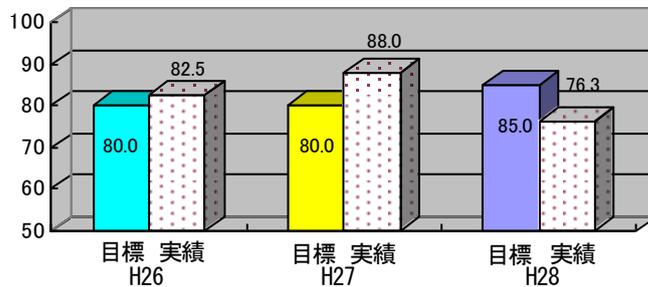
平成 28 年度実績

配置校 市立小・中学校全 36 校

配置人数 13 人 配置日数 2,132 日

成果指標

児童・生徒の関心・意欲の割合(%)



成果と課題・今後の取組等

小・中学校ともに英語学習への意欲が保たれ、主に小学校においては、多くの学年でA L Tを活用した授業を行うことができました。

現在単年度での委託契約のため、業者の変更により指導の質や継続性の面で安定性を欠く部分があることが課題です。

今後は、上記課題に対しては複数年契約なども含めて研究するとともに、A L Tを効果的に活用した授業づくりを通して、英語教育の一層の充実に努めます。

委員からの意見

・小学校の英語の教科化や小・中学校の接続、国際化の波の中で、英語は特に重点化が図られなければならないと思います。A L Tが学校ごとではなく中学校区での担当になったことは評価できます。ただし、小中一貫教育推進事業とも関連しますが、小・中学校の連携がよりしっかりできると良いのではないのでしょうか。また、A L Tと担当教員との十分な打合せが必要だと思います。

・A L Tの配置は、国際理解の素地を培い、コミュニケーション活動を中心とした英語教育の推進に寄与しています。新学習指導要領実施に当たり、学校現場の意向を聞く必要があるかと思います。例えば、放課後に職員の勉強会を行うことや研修会と一緒に参加してもらうなど、今後の活用について、委託業者との話し合いも一歩前進してもらいたいです。実績値から見て、やや事業が停滞しているように思います。



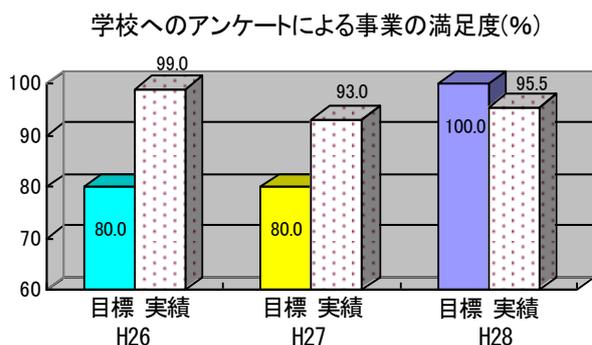
事業概要

厚木市SEL教育基金条例に基づき、確かな学力を身に付けた心豊かで健康な児童及び生徒を育成するために、児童・生徒の表彰を始め、厚木こども科学賞、理科・科学教育推進のための事業などを実施します。

平成28年度実績

- ・おもしろ理科教室を市立小学校全23校(23回)で、3大学、7企業の協力を得て実施
- ・こども科学賞の表彰式 12月11日(日)

成果指標



成果と課題・今後の取組等

こども科学賞の応募件数が年々増加し、平成28年度は開始当初から比べると約520%増の1,347点となっています。引き続き子どもたちの科学への興味・関心が高められるよう取組を継続します。

理科好きの子どもを育成するための「おもしろ理科教室」も平成28年度と同様に継続します。

委員からの意見

- ・開始してから520%の増は、一つの事業として素晴らしい成果だと思います。成果の要因を紹介できる機会に、他の事業の周知にもつなげられると良いと思います。
- ・こども科学賞の応募数が増えていることは、理科や科学好きの子どもが増えていることの表れだと思います。子どもたちは、自身の取組を評価してもらうことで、更に意欲が向上します。また、小学校で行っている「おもしろ理科教室」では、専門の方の指導により理科・科学への興味が増えています。この事業は、大変意義深いものだと考えます。継続していただくことを願うことと、この成果を市民にしっかりと伝えて理解を深めてほしいと思います。



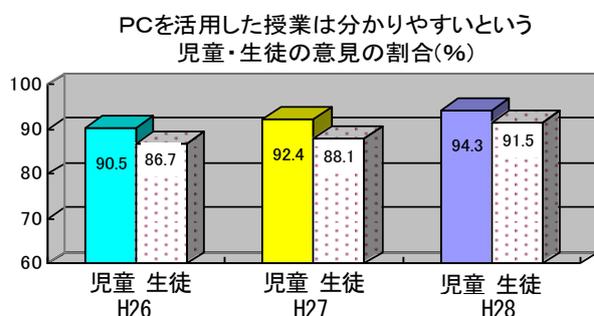
事業概要

21世紀を生き抜くための、児童・生徒の確かな学力の育成と、教職員のICT活用指導力の向上に向けて、授業での情報機器の利活用支援を図ります。また、教職員の多忙化解消に向けて校務の情報化の環境整備を進めます。※ICT…情報通信技術

平成28年度実績

- ・合計利用時間数 小学校 23校 42,628時間
中学校 13校 12,144時間
- ・1校平均 小学校 1,853.4時間 中学校 934.2時間

過去3年の実績



成果と課題・今後の取組等

全ての小・中学校に新たな情報機器などの導入を進めました。今後は、ICT機器を活用した授業や学習活動が効果的に展開できるよう、研修などの支援を行っていきます。

委員からの意見

- ・ICT機器の導入は着実に進められており、指導用ソフトも増えています。教員の中には有効なソフトがあることは認識していても、機器を適切に使う自信がないため二の足を踏んでいる方もいると思われます。他校などでの有効な実践を広める研修の充実が望まれます。
- ・昨年度から取り組んでもらっているICT化推進事業には、学校現場の教員が大変期待しています。小学校の授業へのタブレット導入は、児童の学習への意欲を高めることや分かりやすい授業につながります。中学校の授業への導入は、分かりやすい授業やアクティブラーニングにつながります。また、校務支援システムの導入は、教員が子どもと向き合う時間を増やし、昨今指摘されている教員の労働時間の是正の一助にもなります。計画どおり、一刻も早い導入をお願いしたいと思います。
- ・教職員の働き方改革、子どもと向き合う時間の確保などは、教育委員会としてすでに取り組んでいますが、その一つとして校務の情報化も進められていると聞いています。今後も、小学校と中学校とのニーズの違いはあると思われますが、より良いシステム構築に向けて取組を進めていただきたいと思います。
- ・校務支援システムは他市でも取り入れています。結局データは人の手で入力します。一人一人の教職員がしっかりとシステムを理解しなければならないため、研修をしっかり行う必要があります。また、タブレット等の授業への導入もあると聞きますが、ICTは活用してこそ成果が見込めるものです。良い実践例を基に研修を深めてほしいと思います。



事業概要

保護者の経済的負担軽減を図るため、図工科、家庭科（小学校）、音楽科、美術科、技術・家庭科（中学校）を中心とした教材などや学級活動、クラブ活動、部活動に係る消耗品、備品の経費の一部を公費で負担します。

平成 28 年度実績

【小学校】

消耗品費 27,794 千円・備品購入費 0 円

児童一人当たり補助額 2,350 円

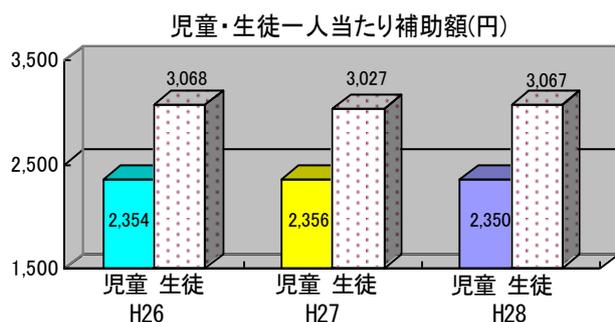
【中学校】

消耗品費 15,764 千円・備品購入費 2,933 千円

生徒一人当たり補助額 3,067 円

部活動に係る一人当たり補助額 481 円

過去 3 年の実績



成果と課題・今後の取組等

保護者が負担する教材教具費のうち、小学校において 13.4%、中学校において 20.3%を公費で負担することにより、充実した教育活動に資することができました。

今後も、継続して取組を実施していきます。

委員からの意見

・現代は、学習に関する経済的負担が大きいです。家庭の豊かさによる学力の差がデータで表れており、貧困家庭の子どもを含めて少しでも公費負担をすることはとても価値が高い事業だと思います。「未来を担う=厚木市を支える人材育成」のためと考えて、今後も続けてほしいと思います。公費負担は全体の25%が目安となっているということでした。負担率をもう少し増やすことは可能なのでしょうか。検討をお願いしたいと思います。

・家庭環境や貧困児童・生徒などの問題の中、こうした事業は必要不可欠だと思います。ただ、保護者には、この事業について伝わっていません。各学校からも集金計画などに一筆入れていただくと良いと思います。また、これと関連して、学校ごとに副教材費を決めるようですが、その費用がかなり掛かります。各学校でも、教材費の保護者負担について一考が必要だと思います。便覧や資料集など、タブレットやパソコンによる検索が可能になってきています。

・市の就学援助に関する事業については、毎年書類提出があり受給者も認識していますが、保護者負担軽減事業については市内外への発信を強めた方が良いのではないかと感じています。保護者のスマートフォンなどに直接お知らせするシステムなど、保護者がより強く認識できる手立てを望みたいと思います。

【基本方針1に対する点検・評価委員からの総括的意見】

○近年の高校等進学・入試については、しっかりとした学習習慣を身に付けさせ、自ら学び、確かな学力を身に付けていくことが求められています。まず基本方針の筆頭に「確かな学力」を挙げたことは、適切と考えます。教育現場には様々な課題がありますが、15の事業には、その課題をクリアしていく方法・手段が用意されていると思います。それに、各現場での創意工夫を加え、創造的な教育を心掛けてほしいと思います。

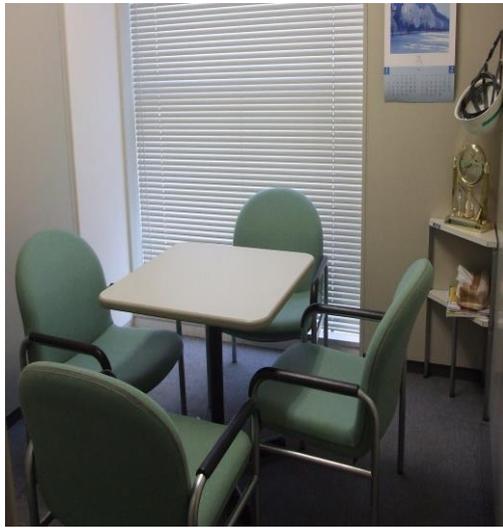
○児童・生徒の学力向上と安定した学校生活は、社会の一部と見ても重要な一部だと思います。一つ一つの事業がより一層充実し、更に厚木市の取組が他地域にも波及できるような展開があればと期待しています。

基本方針 2 豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育を推進します。

2-①

青少年教育相談事業

【青少年教育相談センター】



事業概要

児童・生徒とその保護者などが抱える問題の解決のため、来所相談を始め、相談員の家庭訪問・学校への派遣・配置などによる相談活動を行います。

平成 28 年度実績

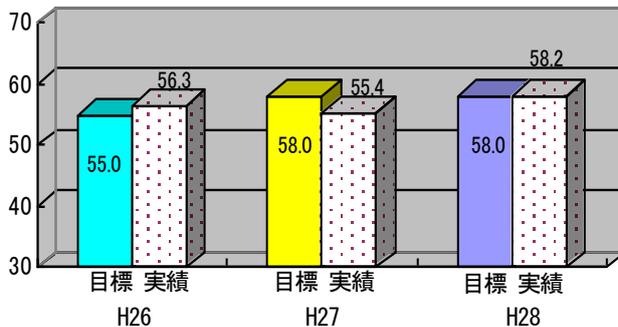
・来所相談	4,343 件
・電話相談	544 件
・家庭訪問相談	501 件
・メール相談	3 件
・小学校スクールカウンセラー相談	4,403 件
・学校コンカッション	99 件

※数値は全て延べ数

上記の相談活動を通して、児童・生徒及びその保護者に対する支援を実施しました。

成果指標

継続相談終結率 (%)



※継続相談終結率とは、継続的に来所して相談したケースの中で、その年度内に相談が終了したケースの割合。

成果と課題・今後の取組等

相談活動を通して、児童・生徒及びその保護者に対する支援を実施しました。相談者と相談の目標を明確にして取り組むことで問題解決につながったケースが多くありました。また、青少年教育相談センターと小・中学校との連携、学校コンサルテーション事業などの取組が、本人の状態や家庭の環境に適合して問題解決につながりました。

相談内容は年々複雑化・多様化・深刻化しています。福祉的支援を必要とする事案の増加に対して、教育ネットワークコーディネーターを積極的に派遣し、児童・生徒を取り巻く環境の改善に取り組みます。

委員からの意見

・近年の子どもたちや保護者が抱える問題は、多種多様です。また増加しているのではないかと思います。学校の先生も若い方が増え、それぞれの問題への対応が難しくなっているのではないのでしょうか。学校では、管理職や児童・生徒指導担当及び教育相談コーディネーターを中心にチームで問題解決に当たっていることと思いますが、実際、校内だけでは解決しきれない問題が増えているかと思えます。教育相談センターは学校にとっては大変心強い存在であり、その実績も優れたものがあります。是非今後も、活動の充実を期待しています。

・様々な事情を抱えた本人・家庭の中の悩み・課題が学校内外での子どもの行動に影響しています。また、そうした悩み・課題の複雑化や、学校に登校し楽しく学校生活を送ることの難しさを感じています。本人・家庭の悩み・課題を軽減・支援していくことは学校教育だけの問題ではありませんが、今後も家庭と学校とをつなぎ、その子どもが楽しく学校生活を送れるよう、引き続き尽力を願いたいと思います。

・子どもを育てるに当たり、学校現場のみで全てのことはできません。特に、家庭の複雑化や社会の急激的な変化により、様々な機関との連携が欠かせない中、仲介的な役割を担う青少年教育相談センターの役割は大変大きいものがあります。更に、教育ネットワークコーディネーターの派遣により、複雑な環境にある家庭の状況が大きく改善されたことも多くあります。今後も、教育ネットワークコーディネーターの人員拡充など、充実した活動ができるよう事業の拡張が望まれます。



事業概要

不登校を未然に防ぐため、毎月実施する学校計画訪問を通して状況把握を行い、課題解決に向けた様々な対策を学校と連携しながら実施します。

平成 28 年度実績

各種会議・ケース研究会の実施

・不登校対策推進連絡会議	2回
・不登校対策推進実践連絡会議	2回
・教育相談コーディネーター連絡会議	4回
・学校不適応ケース研究会参加校	18校

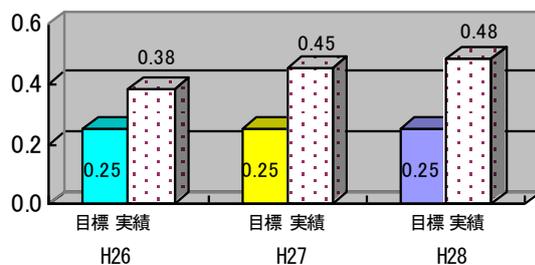
登校支援スーパーバイザーの派遣 19回

児童・生徒支援推進アドバイザーの派遣 23回

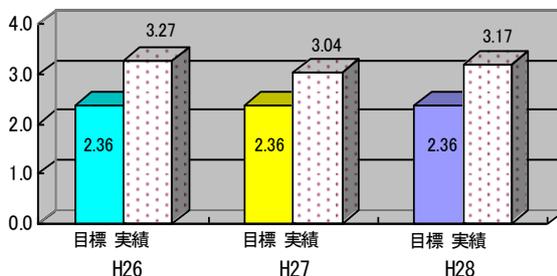
学校教育指導員による学校計画訪問の実施 360回

成果指標

不登校児童の割合 (%)



不登校生徒の割合 (%)



成果と課題・今後の取組等

平成 28 年度も全小・中学校で不登校対策の重点を決めて取り組む体制を組み、不登校の未然防止の重要性や不登校児童・生徒・保護者に対する教職員の理解を深めてきました。今後も、全校で不登校対策に取り組むとともに、「長期欠席に係る児童生徒理解・教育支援シート」を活用しながら、不登校の未然防止、早期発見・適切な対応に一層努め、更なる不登校の減少を目指して、学校との連携を密に図りながら事業展開を進めていきます。

※不登校児童・生徒の割合は、全児童・生徒総数に占める不登校の児童・生徒数の割合。数値が低いほど不登校が少ないとされます。

委員からの意見

- ・中学生の不登校が気になります。要因は様々ですが、対応の迅速さ、丁寧さ、生徒や保護者の心に寄り添う姿勢が大切だと思います。学校と連携し、事業を推進してほしいと思います。
- ・様々な事情を抱えた本人・家庭の中の悩み・課題が学校内外での子どもの行動に影響しています。また、そうした悩み・課題の複雑化や、学校に登校し楽しく学校生活を送ることの難しさを感じています。本人・家庭の悩み・課題を軽減・支援していくことは学校教育だけの問題ではありませんが、今後も家庭と学校とをつなぎ、その子どもが楽しく学校生活を送れるよう、引き続き尽力を願いたいと思います。
- ・不登校対策は、早期対応、更には未然防止が鍵となります。正規学校職員だけではなく、様々な場面で共に協力して指導できる人の働きかけが、不登校児童・生徒を増やさず、また登校意欲を増すことにつながります。今後も、児童・生徒の心の問題に正面から取り組むことのできる人的配置とともに、工夫した事業を続けてほしいと思います。



事業概要

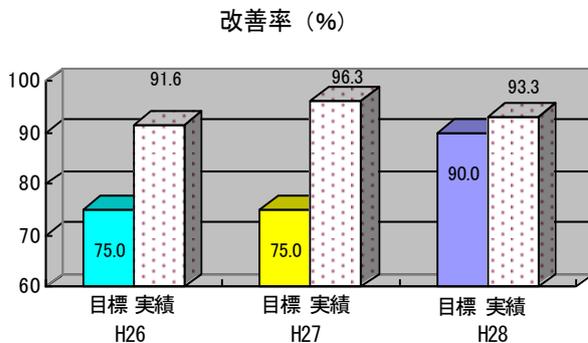
不登校児童・生徒が、小集団での学習や体験活動を通して心の安定を図り、自信を取り戻して学校や社会生活に適応していけるようにするため、個に応じた支援や学習指導を行います。

平成 28 年度実績

相談指導教室通室生人数 14 人

適応指導ルーム通室生人数 16 人

成果指標



※ H26 までは在籍校復帰率を使用

※ 改善率は、適応指導教室での指導により登校できるようになった又は登校には至らないものの好ましい変化が見られるようになった通室生の割合

成果と課題・今後の取組等

二つの適応指導教室の特徴をいかし、対人関係に様々な課題を抱えている不登校児童・生徒に対して、体験的活動を多く取り入れた行事やきめ細かな学習指導、小集団活動などによる適応指導を推進してきた成果として、多くの児童・生徒が別室や放課後など部分的な登校ができるようになりました。

課題を抱える生徒や特別支援級の生徒など、個別対応が必要なケースがあり、学校とより緊密な連携を図り、支援していきます。

委員からの意見

- ・実績値の高さに、この事業の成果を見ることができます。児童・生徒の成育歴や特徴も様々ですが、なくてはならない事業だと思えます。これからも更に充実した指導を希望します。
- ・様々な事情を抱えた本人・家庭の中の悩み・課題が学校内外での子どもの行動に影響しています。また、そうした悩み・課題の複雑化や、学校に登校し楽しく学校生活を送ることの難しさを感じています。本人・家庭の悩み・課題を軽減・支援していくことは学校教育だけの問題ではありませんが、今後も家庭と学校とをつなぎ、その子どもが楽しく学校生活を送れるよう、引き続き尽力を願いたいと思います。
- ・学校に登校できない子どもの居場所として、とても必要なところだと思います。この場所から学校に登校するなどの改善率は、93%以上という大変高い数値が実績として上がっています。これから、遠方の学校に在籍する児童・生徒も入室しやすくなるよう、巡回バスの導入などの交通の便の整備の検討が望まれます。
- ・校内に入れられないという子どももいますので、公民館で先生と会って指導を受けるというような方法も検討してはどうかと思います。



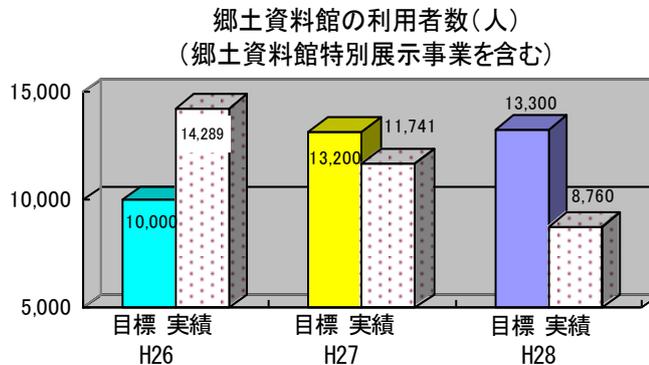
事業概要

多くの市民の方々に郷土の歴史や文化などを伝えるため、郷土資料館で収蔵している資料などを活用し、展示や講座を開催します。

平成 28 年度実績

多くの市民の方に郷土の歴史や文化などを伝えるため、6回の展示会のほか、郷土資料館で収蔵している資料や知見などを活用し、42回の講座を実施

成果指標



成果と課題・今後の取組等

特別展では、見学者、連続講演会参加者に毎回、アンケートを行い、感想、ニーズなどを確認しています。また、展示内容を補う関連講座を4回開催しました。平成29年度は新施設の準備に注力するため、展示会、講座の数を減らしますが、新資料館での展示会、質の高い、市民のニーズを的確に捉えた魅力的な企画が提供できるような計画立案ができるよう取り組んでいきます。

委員からの意見

- ・子どもの市の歴史への興味・関心を高めるためにも、学校への出前講座などの企画を検討してほしいと思います。
- ・他市町村から転入してくる人が増えている厚木市にとって、これまで市民の方たちが築き続けている歴史や文化を大切に残していく資料館はとても大切な場所です。郷土資料館で収蔵している資料や知見などの活用により、講座を42回開講しましたが、来館者及び参加人数は目標値を下回り残念でした。新資料館への入場者が興味を引くような、また、気楽に訪れることができるようなPR活動や企画を積極的に行ってほしいと思います。



事業概要

乳幼児の言葉と心を育むため、0歳児の保護者の方に、絵本やブックリストを手渡ししながら、乳幼児と周りの大人がふれあうことの大切さや楽しさを伝えます。

平成 28 年度実績

実施回数 43 回

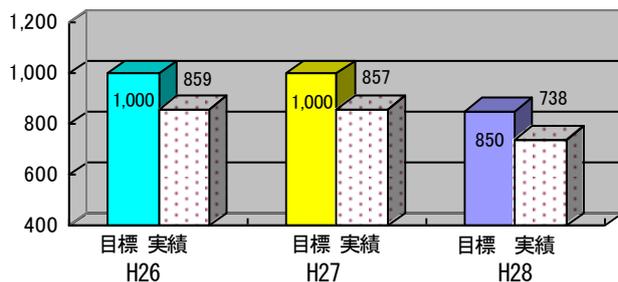
参加人数 738 人

実施場所 中央図書館・移動子育てサロン・公民館・保健センター・アミューあつぎ8F 屋内広場・イトーヨーカドー

子育て支援センターにおいて、フォローアップのためのおはなし会を開催

成果指標

参加した乳幼児の人数(人)



成果と課題・今後の取組等

中央図書館での毎月第4土曜日の開催や移動図書館巡回場所で開催しましたが、保健センターの移転等によりタイアップ開催回数が減少したため、昨年度に比べて参加者数が減少しました。

平成 29 年度は、保健福祉センターやアミューあつぎでの開催回数を増やし、参加者増を目指します。

委員からの意見

・乳幼児期の心や言葉を育むために行っているこの事業は価値が高いです。本に対する知識が豊富な専門家の選んだ絵本やブックリストは、保護者にとっても宝物となるでしょう。公共の施設以外の場所でも開催を広げており、評価できます。今後も開催場所や開催回数を検討してほしいと思います。

・読書は、やはり幼い頃からの習慣が大切だと思います。一層の充実を望みます。



事業概要

「読書大好きあつぎっ子」を育成するため、「あつぎ家庭読書の日」（毎月第3水曜日）を中心に、家庭での読み聞かせや親子読書活動の必要性について、より一層の周知に努めます。

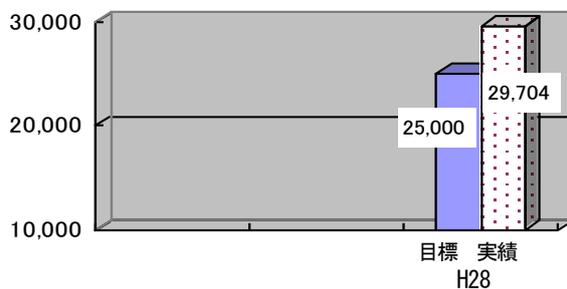
「周知・啓発パンフレット」や推薦図書リスト、読書通帳の配布とともに、読書ボランティアへの支援と連携を進めます。

平成 28 年度実績

- ・小学生及び中・高校生を対象とした推薦図書リストの配布
- ・小学1年生の保護者向け啓発パンフレット、中学1年生向け図書館利用案内を配布
- ・保育所や幼稚園を通じて「厚木の子どもたちに手渡す100冊の絵本」リストや保護者向け啓発パンフレット、読書通帳を配布

成果指標

啓発パンフレット等配布部数(部)



成果と課題・今後の取組等

引き続き推薦図書リストや啓発パンフレットを配布するとともに、おはなし会などの諸行事を開催し、子ども読書活動の啓発や読書のきっかけづくりに努めます。

なお、第2次厚木市子ども読書活動推進計画が最終年度を迎えることから、成果と課題を踏まえ、第3次計画の策定に取り組みます。

委員からの意見

・子どもは中学生になると忙しくなり、なかなか読書にいそむことが難しいようです。学校によっては、朝読書などの取組もあるようですが、やはり、子どもが自ら読書の価値、価値ある一冊を見つけられるようなきっかけがあれば良いと思います。事業の一層の充実を望みます。

・「読書大好きあつぎっ子」の育成のため、パンフレットや読書通帳の配布が積極的に行われています。配布部数の実績値も高いところですが、紙ベースのパンフ配布による啓発度がどの程度なのかを、把握する必要があると思います。読書通帳についても、図書館などにただ置いてあるだけのような印象があります。全国学力状況調査の図書に関する内容を公表して、成果と方法をきちんと検討してほしいと思います。また、学校図書室との連携を強め、読書活動を更に推進していただくことを望みます。

【基本方針2に対する点検・評価委員からの総括的意見】

○児童・生徒、保護者が抱える問題は、多種多様で学校だけでは対応しきれません。対応が遅れ、その結果大きな事件を招くといった事例が世の中には少なくありません。幸い、本市の青少年教育相談センターの活動や対応については、高く評価できます。平成28年度実績や不登校の状況分析、改善率を見ても明らかです。なお一層の各学校との連携・指導をお願いしたいと思います。

基本方針3 教職員の資質・能力と組織力の向上を通して、信頼される学校づくりを推進します。

3-①

教職員研修事業

【教育指導課・教育研究所】



事業概要

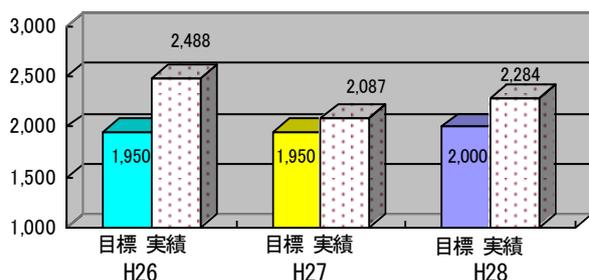
教職員としての専門性や資質能力の向上を図り、児童・生徒や保護者、地域から更に信頼されるよう、学校経営及び教育課程などの各種研修会を開催します。

平成28年度実績

研修参加者数	1,423 人 (26 研修講座)
研究会参加者数	861 人 (6 研究会)

成果指標

教職員研修・研究会参加者数(人)



成果と課題・今後の取組等

研修及び研究会は、それぞれの目的に沿ったテーマを設定し実施することができました。

今後も、教職員としての専門性や資質能力の向上を図り、児童・生徒や保護者、地域から更に信頼されるよう事業を推進します。

委員からの意見

・教員にとって、研修は必要不可欠です。いわゆる OJT と言われる校内での研修の充実も重要ですが、このように組織的・計画的な研修を行うことはとても大事なことだと思います。その内容も、年々充実しているように思います。今後も、多くの教員が積極的・意欲的に参加できるような工夫や実践に結び付く研修の企画を希望します。

・教員としての専門性や資質能力の向上を図るため、様々な研修会・研究会を開催して、多くの教員が技術向上につなげることができています。参加している教員からの研修会への評価も高いところ です。参加者数が目標値より実績値が高くなっていることは、教員たちの新学習指導要領実施への意識の表れだと思います。今後もテーマや内容について吟味し、価値の高い研修の設定を希望します。



事業概要

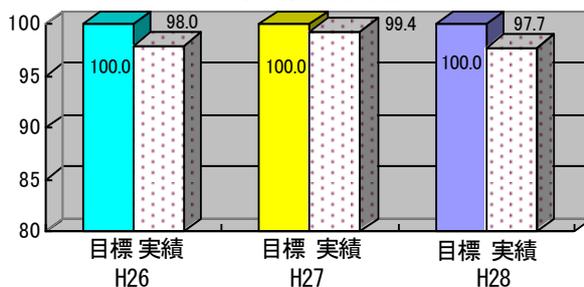
教職員の指導力向上を支援するため、教育課題研修や教科指導研修、ICT活用研修などの各講座や初任者研修、教育研究発表会・教育講演会を開催します。

平成 28 年度実績

各種研修講座等開催数 21 回
参加教職員等数 786 人(延べ 1,528 人)

成果指標

研修講座参加者が受講内容を実践に応用できる
とする研修の実用度 (%)



成果と課題・今後の取組等

教育研究発表会や各種の希望制研修などにより、教職員の意欲や資質・指導力の向上を図りました。経験年数に関わらず、若手とベテランが学校を越えた専門的な課題などを共に学び合う場はとても活気があります。

今後も、教育課題への先進的な取組や参加率の向上を目指し、充実した事業を推進します。

委員からの意見

・21回の講座などの開催に対し、実数786人、延べ1,528人の参加は素晴らしい実績と考えます。教員数(非常勤職員を含め)約1,200人のうち、半数以上が自主的に参加していることから、教員の意欲を感じることができます。今後も教員の実態やニーズを踏まえた研修内容を設定していただきたいと思います。

・教員の意欲や資質、指導力の向上を図るために、教育研究発表会や21回の各種研修講座が開催されています。参加した職員の97%が実践に応用するという事で、即実践につながる価値の高い事業です。今後も喫緊の教育課題や教育改革に関する研修会を増やす工夫を望みます。

・道徳の教科化やICTを始めとする情報教育の推進など、教員の業務内容が多様化・複雑化し、得手不得手もあって大変だと思います。そうした教員の困り感を把握し、これからも研修内容を組み立てていただきたいと思います。



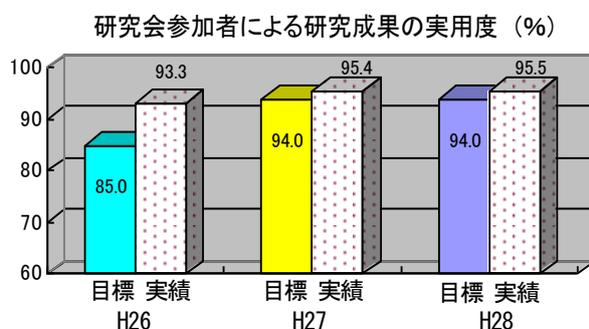
事業概要

教育の新たな動向や今日的な課題に対応するため、教職員や市民の方々などで構成する研究部会をテーマごとに設け、毎月1回部会を開き、課題解決に向けての調査研究や、教材・資料の作成を行います。

平成28年度実績

教育調査研究部会 3部会設置・運営
部会開催延べ回数 32回(3部会合計)
研究に携わった教職員 21人

成果指標



成果と課題・今後の取組等

教育の場における様々な課題や新たな教育の動向について、具体的な方策を提起しました。

今後も、今日的課題などについて研究を積み重ね、研究成果を発信し、教職員の資質・指導力の向上を図るため、事業を推進します。

委員からの意見

- ・教育の場での様々な課題や新たな教育の動向について研究することが、携わる教員や市民にとって大きな自信と実績になっています。また、研究した成果が公表されることで、全小・中学校の現場にとって大切な指針や教材となっています。今後も続けてほしいと思います。
- ・毎年夏に開催される教育研究発表会、研究紀要などでその成果を確認できます。そうした成果が現場において、更に工夫・実践されることが望まれます。大会への多くの参加者に、研究紀要等資料の積極的な広報がされると良いです。



事業概要

家庭・学校・地域社会における教育を支援するため、児童・生徒用の教材や研究紀要などを作成・提供し、教職員の実践をまとめた教育実践記録集の発行や、教育に関する資料の収集・提供を行います。

平成 28 年度実績

- ・小学校社会科副読本・地形図 2,200 部発行
- ・中学校社会科副読本・地形図 2,200 部発行
- ・研究紀要 92 集 900 部発行
- ・教育実践記録集 43 集 300 部発行

成果と課題・今後の取組等

小・中学校社会科副読本の修正増刷を始め、日々の教育活動に効果的に活用できる教材、資料などの作成・収集・提供を行いました。

今後も、教職員の資質・指導力の向上を図るため、様々な教育的ニーズや今日的課題についての研究成果を発信していきます。

委員からの意見

・毎年夏に開催される教育研究発表会、研究紀要などでその成果を確認できます。そうした成果が現場において、更に工夫・実践されることが望まれます。大会への多くの参加者に、研究紀要などの資料の積極的な広報がされると良いです。

・子どもの指導に直接いかせる教材指針として、優れた読み物や記録などを提供してくれています。教員が個人として収集・確保できる資料は限られているので、更に充実した資料の提供をお願いしたいと思います。

【基本方針3に対する点検・評価委員からの総括的意見】

○教員の若返り、教員の間層が薄いなどの状況の中、その資質・能力の向上を組織的に行うことは急務と言えると思います。様々な研修が行われ、その実績、成果も上げていることは、評価できると思います。若い先生方におかれては、一人で悩まれている方もいるかもしれません。そうした先生方への支援の充実を望みます。

○教員の研修はとても大切なことであると思われます。教員のレベルアップは教育の質の向上の基礎となるため、更なる推進を希望します。

○児童・生徒からすると、校長先生も、職員も、非常勤講師も、また部活動指導者も全て、他の一般の大人とは違う存在だと思えます。児童・生徒に直接関わる先生方は、これからもなお一層、資質・能力の向上に向け頑張ってください。

基本方針4 課題やニーズに対応した教育環境の整備・充実を図ります。

4-①

小学校校舎・体育館改修事業

【学校施設課】



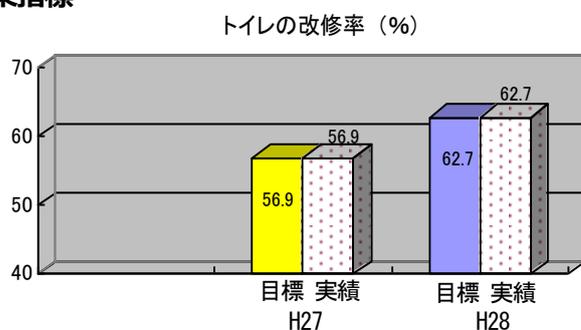
事業概要

児童が安全で快適な教育環境の中で学校生活を送れるよう、校舎のトイレなどの改修工事を実施します。

平成28年度実績

- ・清水小学校及び森の里小学校のトイレ改修を実施
- ・荻野小学校の校舎外壁屋上改修工事を実施

成果指標



成果と課題・今後の取組等

安全で快適な施設環境が確保できました。今後も計画的に改修工事を実施します。

委員からの意見

- ・きれいな学校は、子どもたちの登校意欲にもつながるのではないかと思います。トイレ改修は、衛生的な学校生活を送るために、必要な工事だと認識します。児童の中には、学校のトイレを使用できない子どももいるようです。予算は膨大となりますが、子どものことを考えると適切に事業を推進してもらいたいと思います。
- ・行事などで来校される保護者、特にお年寄りについては、古い体育館の和式トイレは大変そうです。早い改修が望まれます。また、学校の老朽化に伴う急な修繕が必要な場合もあるでしょうが、迅速な対応をお願いしたいと思います。



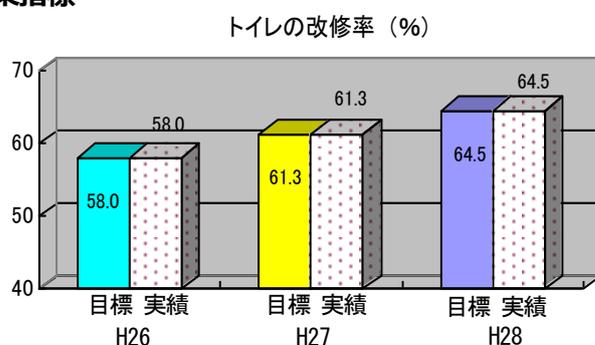
事業概要

生徒が安全で快適な教育環境の中で学校生活を送れるよう、校舎のトイレなどの改修工事を実施します。

平成 28 年度実績

- ・ 依知中学校のトイレ改修を実施
- ・ 南毛利中学校と睦合東中学校の校舎外壁屋上改修工事を実施

成果指標



成果と課題・今後の取組等

安全で快適な施設環境が確保できました。今後も計画的に改修工事を実施します。

委員からの意見

- ・ これらの改修事業は、効果的な学習活動を進めるために、最低限必要な改修工事だと認識します。予算は膨大となりますが、子どもの安心・安全を確保するために、適切に事業を推進してもらいたいと思います。
- ・ 行事などで来校される保護者、特にお年寄りについては、古い体育館の和式トイレは大変そうです。早い改修が望まれます。また、学校の老朽化に伴う急な修繕が必要な場合もあるでしょうが、迅速な対応をお願いしたいと思います。



事業概要

快適な学習環境の整備を図るため、市立小学校の教室に冷暖房設備を設置します。

平成 28 年度実績

【冷暖房設備の設置工事実施校】

9校（厚木第二小・小鮎小・依知小・荻野小・上荻野小・鳶尾小・緑ヶ丘小・妻田小・上依知小学校）

成果と課題・今後の取組等

平成 28 年度をもって、全小・中学校に冷暖房設備の設置が完了しました。

委員からの意見

- ・実際に、設置された学校現場からは、夏休みの補充学習あるいはPTA活動に利用でき、快適であったとの報告がありました。この数年、暑さが厳しくなっています。子どもの健康面、学習効果の面からこの設備が活躍することは間違いなく、今後の成果に期待したいと思います。なお、室内外の気温差が大きくなることから、利用に当たってのガイドラインがあると良いと思います。
- ・以前から設置されている保健室や図書室などの冷房やエアコンが故障した話をよく聞きます。そうしたメンテナンスもお願いしたいと思います。



事業概要

県道整備に伴う三田小学校体育館の移設について、快適な教育環境の確保を図るため、施設環境の機能整備に努めます。

平成 28 年度実績

市道の一部を学校用地にするための分筆及び表示登記などを実施

成果と課題・今後の取組等

今後も、整備計画に基づいて着実に進めます。

委員からの意見

・埋蔵文化財を教材にした学習活動を行うなど、校舎の整備を効果的に活用していると思います。今後も、子どもの学習や安全面に支障のない方法で、環境整備を進めてください。



事業概要

児童・生徒が安全で快適な学校生活を送れるよう、校庭の整備を実施します。

平成 28 年度実績

- ・南毛利小学校グラウンド改修測量及び実施設計委託を実施
- ・森の里中学校グラウンド改修工事を実施

成果と課題・今後の取組等

今後も、計画的に整備事業を進めます。

委員からの意見

- ・全国各地の公的施設で、子どもの大きな怪我が、毎年といってよいほど起きています。児童・生徒が安全で快適な学校生活を送れるよう、引き続き校庭の整備を希望します。



事業概要

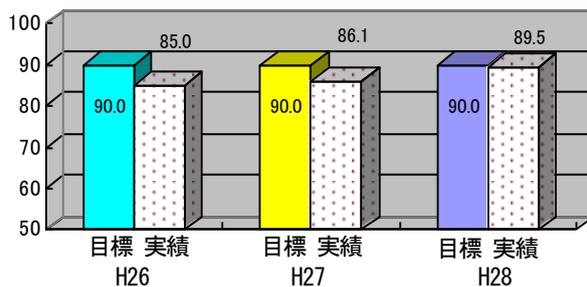
児童・生徒が安心して登下校できるようにするため、防犯ブザーの配布や学童通学誘導員の配置などを行います。

平成 28 年度実績

- ・学童通学誘導員の配置 市内通学路 8 か所
- ・防犯ブザー配布 3,530 個
- ・児童の防犯ブザー携帯率調査
第 1 回児童携帯率 92.1%
第 2 回児童携帯率 89.5%
- ・通学路注意看板の設置 8 枚

成果指標

児童の防犯ブザー携帯率 (%)



成果と課題・今後の取組等

当初の目標値であった「児童の防犯ブザー携帯率 90.0%」を第 1 回目の調査で達成したため、平成 29 年度目標値は 95%へ引き上げました。

また、不審者情報提供のためのケータイ SOS ネットで防犯ブザーの携帯を促す文言の記載など、今後も携帯率上昇のための取組を実施していきます。

委員からの意見

・防犯ブザーと併せて、通学路の安全対策は非常に大事な取組だと思います。各機関との連携、地域の情報も集めながら今後も継続を希望します。

・不審者や交通事故などによる子どものトラブルは、年々増加傾向にあります。また、保護者の安全への意識もマスコミ報道の増加とともに高くなっています。保護者・子どもの心理的不安を取り除き、気持ち良く学校へ登校できるよう誘導員の配置などについて、更に充実してもらいたいと思います。防災ブザーについては、携帯率の上昇も大切ですが、持っていない・使えない子どもの実態もあるようです。必要な時に使えるような指導が必要だと思います。

4-⑧⑨ 要保護及び準要保護児童就学援助事業 要保護及び準要保護生徒就学援助事業

【学務課】



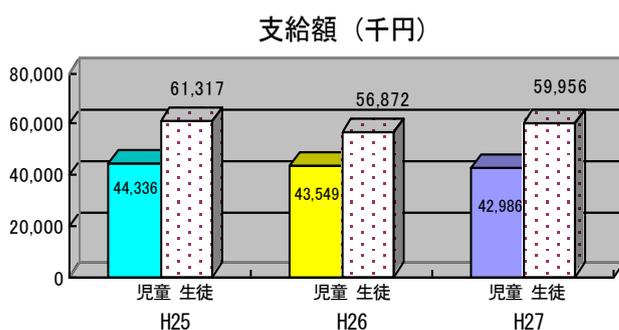
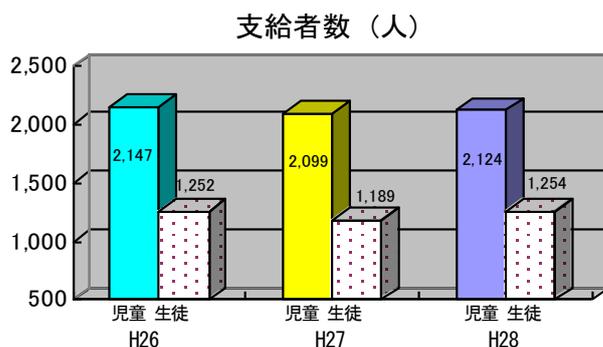
事業概要

教育の機会均等を図るため、経済的な理由により就学が困難な児童・生徒の保護者に、学用品費などの経費の一部を支給します。

平成 28 年度実績

【小学校】支給者数	準要保護者	1,980 人
	要保護者	87 人
	支給額	42,986,486 円
【中学校】支給者数	準要保護者	1,150 人
	要保護者	56 人
	支給額	59,956,685 円

過去 3 年の実績



成果と課題・今後の取組等

経済的な理由で就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費などを支給することにより、教育の機会均等を図ることができました。

今後も継続的な支援をしていく必要があると考えます。

委員からの意見

・経済的な理由で就学が困難な児童・生徒の保護者に対して、適切かつ効果的な支援がなされています。年々、貧困家庭の増加が認められており、該当家庭への支援を継続していくことは、子どもの幸せのみならず厚木市の学力水準を高めることにもつながると思います。また、経済的な理由が、児童の不登校につながることもあり、援助を受けている家庭について、支給された援助費がしっかりと児童・生徒のために使われるよう指導を希望します。

・経済的な不安を抱える家庭も増えているようです。支給者が 3000 人を超えているとのことですが、事業の継続・拡大を希望します。

小学校特別支援学級等就学奨励事業 中学校特別支援学級等就学奨励事業

【学務課】



事業概要

教育の機会均等を図るため、特別支援学級などに就学する児童・生徒の保護者に、学用品費などの経費の一部を支給します。

平成 28 年度実績

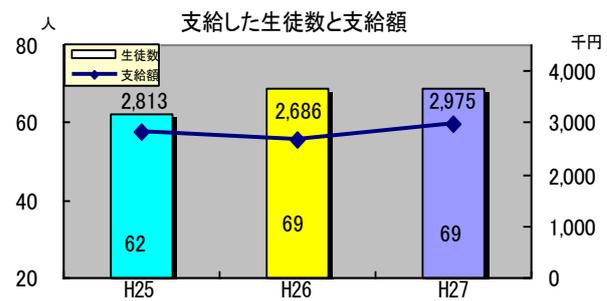
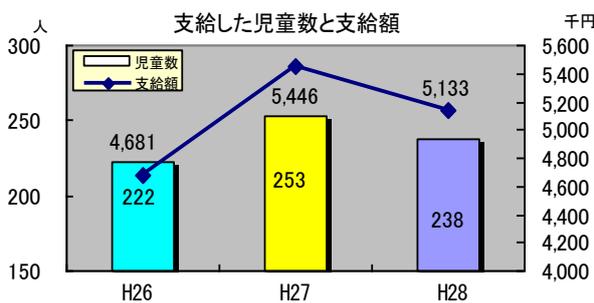
【小学校】

特別支援学級等在籍支給者 177 人
ことばの教室通級支給者 61 人
支給額 5,133,698 円

【中学校】

特別支援学級等在籍支給者 69 人
支給額 2,975,105 円

過去 3 年の実績



成果と課題・今後の取組等

保護者の経済的負担が軽減できたとともに、教育環境の水準を維持できたと考えます。

今後も継続的な支援をしていきます。

委員からの意見

- ・特別支援学級に在籍する児童がいる家庭は、他の家庭より子育てにかかる費用がかさむと考えられます。学用品などの経費を支給することで、適切に支援ができていると思います。引き続き、経済的支援を希望します。
- ・所属する学校の特別支援学級や学区外へ通級する児童・生徒の保護者に対して、教育的二一ズと経済的に支援をする事業は心の支援でもあり、意義のある事業です。支援児童・生徒は増加の傾向があり、これからも継続して欲しい事業です。



事業概要

特別な支援を必要とする子どもへの適切な就学相談、就学指導を行うため、「厚木市心身障害児就学指導委員会」を運営し、特別支援教育の充実を図ります。

平成 28 年度実績

就学相談	年間 6 回
就学指導委員会	年間 5 回

成果と課題・今後の取組等

就学相談及び心身障害児就学指導委員会を開催し、特別な支援を必要とする児童・生徒一人一人の障がいの種類や程度、能力、適性などを的確に判断し、保護者の意見や、教育・医学・心理学などの専門的な見地から意見を踏まえ、きめ細やかな就学相談・就学指導を実施しました。

今後も、各学校において特別な支援を必要とする児童・生徒が増加していく中で、個々の状況やニーズに応じて適切な指導を受けられる環境を整備するため、事業を継続していきます。

委員からの意見

・特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、一人一人の障がいの程度や能力・適性などをしっかりと判断し、きめ細かな就学相談を行っており、当該家庭からも信頼されています。就学相談が必要な児童・生徒は年々増えており、時間的に厳しい状況が生まれていますが、適切に運営できるよう望みます。

・特別な支援が必要な児童・生徒は今後増加していくのではないのでしょうか。インクルーシブ教育という言葉も聞きますが、その実践には多くの課題をクリアしていかなければなりません。特別支援学級は廃止せず並行して、考えていただければと思います。また、特別支援学級の担当教職員の専門性についても議論する必要があると思います。



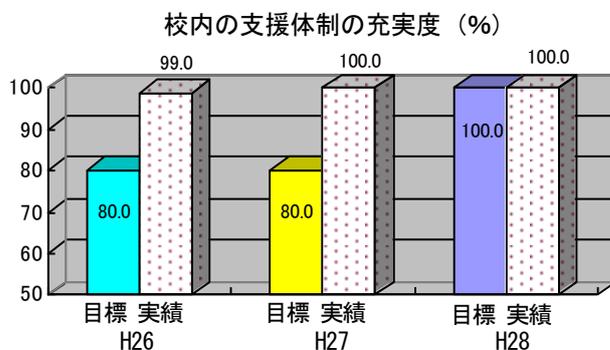
事業概要

特別な支援を必要とする児童・生徒に対する総合的な支援体制を整備するため、市立小・中学校に学校教育指導員を派遣するほか、特別支援教育介助員の配置などを行います。

平成 28 年度実績

学校教育指導員派遣回数 41 回
 特別支援教育介助員派遣人数 91 人
 (市立小・中学校 30 校)

成果指標



成果と課題・今後の取組等

特別支援教育推進事業については、子供たち一人一人の教育的ニーズに沿った適切な教育環境を整えていくことが課題です。学校教育指導員は、特別支援学級の指導や、校内支援体制の充実のために、指導・助言を行いました。

特別支援教育介助員の確保による校内支援体制の充実を図るため、現在の介助員への継続依頼に加え、市のホームページなどを活用し、人材の確保に努めます。

委員からの意見

・特別な支援を必要とする児童・生徒に対して介助員が寄り添うことで、子どもは落ち着いた生活を送れ、健全に発達をしています。また、全ての子どもたちが適正な教育を受けられる教育環境を整えるために、適切な指導・助言を受けられることは、公立学校として大切なことです。今後も充実した事業を推進してもらいたいと思います。

・特別な支援が必要な児童・生徒は今後増加していくのではないのでしょうか。インクルーシブ教育という言葉も聞きますが、その実践には多くの課題をクリアしていかなければなりません。特別支援学級は廃止せず並行して、考えていただければと思います。また、特別支援学級の担当教職員の専門性についても議論する必要があると思います。



事業概要

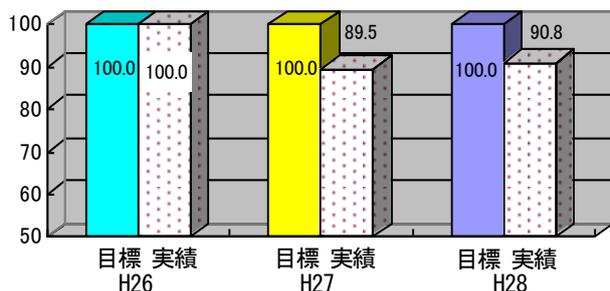
日本語が理解できず学校生活に支障をきたす外国籍児童・生徒及び帰国児童・生徒に対し、母語などの話せる日本語指導協力者を派遣するとともに、外国籍児童・生徒が多く在籍する学校で、放課後などを利用し、日本語の習得や学習補助を目的とした補習教室を開設するための支援員を派遣します。

平成 28 年度実績

日本語指導協力者 20 人を市立小学校 15 校、中学校 7 校に派遣

成果指標

日本語指導が必要な児童・生徒支援のための
協力者派遣の割合 (%)



成果と課題・今後の取組等

年々、外国籍児童・生徒が増加しており、その中には全く日本語を読む、書く、話すができない児童・生徒も少なくありません。また同じ言語の児童・生徒が複数の学校へ在籍しているため、人材の確保が難しい状況です。

現状を踏まえ、より詳細な外国籍児童・生徒の学習状況の把握に努め、適正な配置ができるよう進めていきます。

委員からの意見

・外国籍児童・生徒の中で、日常生活さえも不便のある子どもに対して母国語の指導を堪能な方に依頼し、生活に支障のない状況にまで引き上げています。時には、同様に日本語に不自由な保護者との関わりも行っており大きな成果を上げています。今後も、学校運営にプラスとなる、より多くの人材確保を希望します。



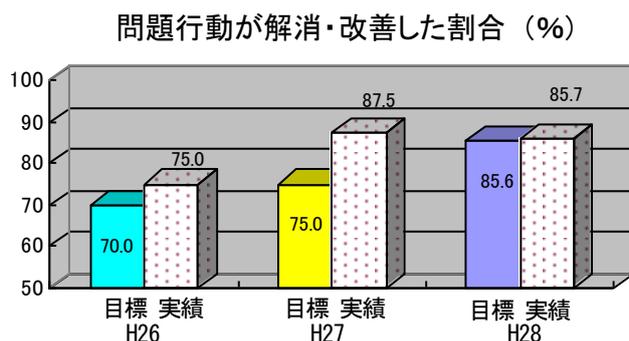
事業概要

児童・生徒の問題行動に対し、関係機関などと連携してプロジェクトチームを組織し、一人一人に適した対応を図るとともに、定期的に学校訪問を行い、必要な情報を収集し、問題行動未然防止の観点から、管理職や児童・生徒指導担当教員に対し、組織的かつ効果的な児童・生徒指導について助言します。

平成 28 年度実績

市立小・中学校を定期的に訪問（原則年 3 回）
 小学校 67 回、中学校 38 回 合計 105 回
 プロジェクト会議 小・中学校各 1 校
 臨時プロジェクト会議 中学校 1 校 年 5 回開催

成果指標



成果と課題・今後の取組等

学校だけの対応によって解決することが困難な事案について、警察や児童相談所といった外部機関との連携を深めることによって、児童・生徒が様々な立場から支援・指導を受けることができるように努めています。

また、問題行動の未然防止、早期発見、適切な対応ができるよう、定期的な学校訪問において、学校の状況に応じた指導助言を継続していきます。

委員からの意見

- ・問題行動の低年齢化や広域化が問題となっているのではないのでしょうか。校内での指導には限界があります。児童・生徒、保護者にできるだけ具体的な働きかけができるような意義ある指導ができれば良いと思います。
- ・多様化する家庭環境に、定期的な家庭訪問や関係機関からの適切な指導を早期に行うことで、いじめや不登校などの早期発見や未然防止につながっています。更に、手厚い支援ができるよう事業の拡張を希望します。



事業概要

中心市街地の公共施設再配置計画に基づき、厚木南公民館の新築移転に向け、新築工事を実施します。

平成 28 年度実績

予定通り竣工し、平成 29 年 4 月 1 日から開館

成果と課題・今後の取組等

平成 28 年度で事業を終了しました。

委員からの意見

・当公民館は、立地条件が良く、建物もきれいで大小の部屋や体育室も備わっています。会議で使わせてもらいましたが、使いやすかったです。住民へのPR活動を継続的にお願いし、空いてしまう時間が少なくなるよう、そして、大切に使用してもらいたいと思います。



事業概要

厚木南公民館の新築移転に伴い、
周辺道路の整備を実施します。

平成 28 年度実績

- ・周辺道路工事は平成 29 年 2 月 28 日に完成
- ・開館に向け、建物内の配線工事や備品の設置などを実施

成果と課題・今後の取組等

落成式を開催するとともに、工事の振動による周辺家屋影響調査を実施します。

委員からの意見

・当公民館は、立地条件が良く、建て替え前にあった施設の認知度も高いので、住民のニーズに即した様々な活動が期待されます。周辺の道路も広くなり、より存在感が増しました。事故などが起きないように表示を工夫してほしいと思います。



事業概要

中央図書館と南毛利公民館図書室をオンライン・ネットワークで結び、中央図書館と一体化したサービスを提供し、地域のサービス拠点として、利便性の向上を図ります。

平成 28 年度実績

中央図書館と南毛利公民館図書室をオンライン・ネットワークで結ぶとともに、蔵書も 9,565 冊と一新し、平成 29 年 1 月にリニューアル開室

成果と課題・今後の取組等

オンライン・ネットワーク化により中央図書館と一体化したサービスが可能となりました。今後は周知に努め、地域のキーステーションとして活用されるように努めます。

委員からの意見

・中央図書館と南毛利公民館をオンライン・ネットワークで結び、中央図書館と一体化したサービスが可能となりました。これからは、そのサービスが住民に周知され、より公民館が活用されるよう推進してもらいたいと思います。



事業概要

社会情勢の変化に伴い、図書館に対する市民ニーズも多様化しています。図書館施設及びサービスについて、利便性の向上を図り、未来を見据えた図書館基本構想を策定します。

平成 28 年度実績

- ・市民アンケートなどで市民ニーズの把握に努めるとともに、図書館協議会に諮り、今後の図書館づくりの基礎となる図書館基本構想案を作成
- ・構想案について、平成 29 年 3 月にパブリックコメントを実施

成果と課題・今後の取組等

パブリックコメントでいただいた意見を参考として、図書館基本構想を策定します。

委員からの意見

- ・パブリックコメントの意見を基に、市民が厚木市の名物として、誇りを持って推薦できる図書館を目指してほしいと思います。また、子どもや高齢者を含めて、誰もが20年あるいは30年先まで足を運びたくなる図書館づくりを目指してほしいと思います。

【基本方針4に対する点検・評価委員からの総括的意見】

○校舎の老朽化や立ち木の成長とともに、物的な環境整備は必要不可欠です。冷暖房の設置事業やトイレの改修など行われていることを評価したいと思います。

○これからも安全できれいな環境整備を希望します。

基本方針5 教育の原点である家庭教育を支援します。

5-①

家庭教育学級交付金

【社会教育課】



事業概要

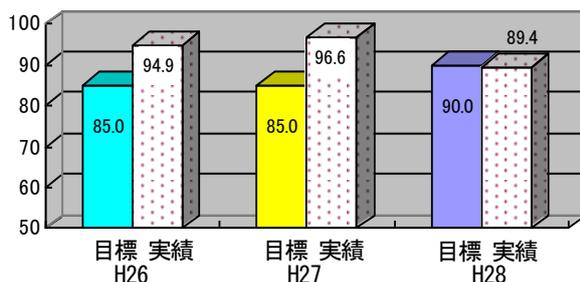
教育の原点である家庭教育の充実を図るため、幼稚園保護者会、市立小・中学校PTAなどが家庭教育学級を開設できるように支援します。

平成28年度実績

市立小・中学校PTA36校、私立初等学校保護者会1校、保育園1園、幼稚園保護者会16園、合計54団体へ家庭教育学級を開設するための交付金を交付し、事業計画などについて相談や助言などを実施

成果指標

家庭教育学級に参加した保護者の
家庭教育への有効度 (%)



成果と課題・今後の取組等

学級開設に当たり、計画内容や講師について、手引きや資料集を作成するとともに適切な助言を行うことにより、より充実した事業の開催が可能となりました。今後も、家庭教育の推進が図られるよう支援をします。

平成27年度から参加者共通のアンケートを実施しており、学習した内容が家庭で子育てに役立つかどうかなどの調査結果を基に、より効果的な家庭教育学級の開設を目指します。

委員からの意見

- ・実績値の微減が見られますが、PTAとよく連携し、趣旨をいかした事業計画を望みます。
- ・PTA活動は、学校と家庭が両輪として教育活動を行っていく上で大切です。現在、PTA組織を維持することが難しい状況が見られています。その中で、魅力的な家庭教育学級は活動の活性化に大きなウエイトを占めると考えます。開設に当たり、計画内容や講師などの手引き、資料集が作成され、より身近なPTA活動を行うために充実した事業が推進されています。しかし、実績値は、目標値及び昨年度実績値と比べて、低くなっています。ここ数年、保護者のPTAに対する考え方が様々なものとなっているので、要因を吟味しながら、楽しいPTA活動の指針となるよう有効性を発揮してほしいと思います。
- ・学級講座としてきちんとやっているところと、単なるイベントとしてやっているところの差が非常に大きいと思います。講座の内容や講師の存在など、社会教育課が適切なリードをしてもらえるよう希望します。
- ・家庭教育学級は公民館とタイアップしていないという問題があります。公民館が持っている様々な情報を引き出せれば、もっと面白い講座ができるはずです。事例や公民館との連携について説明するなど、PTA等への説明の方法に工夫が必要だと思います。



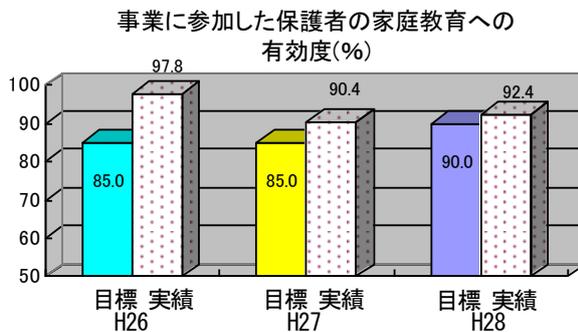
事業概要

家庭教育の必要性や重要性を理解していただくため、市民の方々を対象に講演会を開催し、必要な情報を提供します。

平成 28 年度実績

市立小・中学校 P T A (1・3 回目)、幼稚園保護者会(2 回目)などを対象に、家庭教育情報提供事業講演会を全 3 回開催
参加者合計 485 人

成果指標



成果と課題・今後の取組等

それぞれの講演会の内容について、保護者会や P T A と調整を重ねることで、参加者のニーズに合った講演内容とすることができました。今後も、参加者が必要とする内容で開催できるように、幼稚園保護者会や小・中学校 P T A と要望・課題を調整しながら、事業を推進します。

委員からの意見

- ・実績値が高いことから、家庭教育に対して興味・関心の高い保護者が多いと感じます。また、実際不安を感じている家庭も多いのでしょうか。講演会と個別の相談とをセットで開催するなどの企画があっても良いと思います。
- ・本当に支援を必要としている家庭ほど閉ざされているように感じます。そうした中、幼稚園、小・中学校の保護者を対象とした講演会は、内容が大変素晴らしいと感じました。その概要を家庭に周知する方法を何とか考えていただきたいと思います。家庭に入っていくことは大変難しいので、有効な実践を必要としている家庭に届けられるよう尽力をお願いしたいと思います。
- ・3回の講演会のテーマは、家庭にとって大変大切なテーマだと思います。講演会に参加した保護者による有効度からも、それがよく表れています。今後も、今日的な課題について情報を提供してもらいたいと思います。一方、この講演に参加している保護者は、家庭教育に関心が高い方なので、この方たちからいかに一般の保護者に情報が発信されるのか、見極めていく必要があると思います。



事業概要

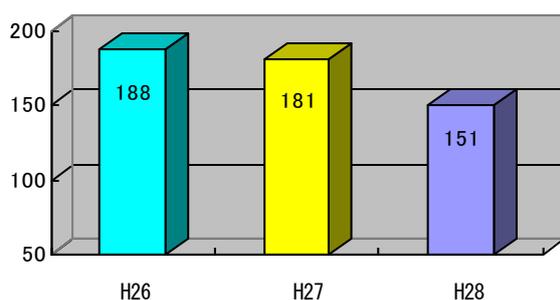
成長期の子どもの健やかな成長のために、「早寝早起き朝ごはん」の大切さを、積極的に啓発します。

平成 28 年度実績

チラシ・啓発物品などを配布する啓発回数 約 151 回(各地区公民館まつり、各小学校就学前検診・就学時説明会、各小学校区地域子ども教室等)

過去 3 年の実績

啓発チラシなどの配布回数 (回)



成果と課題・今後の取組等

乳幼児や小学生などの保護者中心に啓発用チラシや物品等を配布し、効果的な啓発活動を展開しました。小・中学校で作成される保健だよりや公民館だよりなどで「早寝早起き朝ごはん」推進にかかる記事の掲載依頼をし、更に広く保護者などへ啓発内容が浸透するよう工夫しました。

今後も、積極的に啓発活動を推進します。

委員からの意見

・各学校・公民館で配布するたよりや啓発用チラシを積極的に配布したり、講演やあいさつにその大切さを取り込んだりすることで、着実に定着度が上がっていると思います。「早寝早起き朝ごはん」の習慣化は、家庭教育の基本です。これからも、子どもの健やかな成長のために、市を挙げて取り組んでほしいと思います。



事業概要

厚木市の家庭教育の向上を目指すため、地域の特性をいかし、家庭教育支援の視点から既存事業を再検証し、家庭教育支援の取組を推進します。

平成 28 年度実績

- ・平成 26、27 年度モデル地区の睦合南、森の里地区では継続して事業を開催し、新たに平成 28、29 年度モデル地区に指定した厚木南、依知北地区において事業を開催
- ・家庭教育支援フォーラム
1月 21 日開催 参加者合計 81 人

成果と課題・今後の取組等

家庭教育支援フォーラムにおいて基調講演やグループディスカッションを行うことにより、地区活動者への情報提供や、家庭教育に関する意識・情報の共有を図りました。平成 29 年度からは、市内全 15 地区において事業の取組を開始し、厚木市の家庭教育支援の更なる向上を目指します。

委員からの意見

- ・家庭教育支援フォーラムに一度参加させていただきました。いわゆる近所付き合いといった、地域が主体となった家庭教育支援は、かつては当たり前のように行われていたように思います。地域の方々の結び付きの大切さを改めて考えさせられる価値ある事業です。継続してほしいと思います。
- ・家庭教育支援事業はこれからの大きな課題と認識しています。地域ぐるみ家庭教育支援事業の実践は全国的にも珍しい事業であり、厚木市から発信できる実践成果を楽しみにしています。平成 29 年度は、実践事業の予算化が実現したこともありますので、一層の推進を期待しています。
- ・家庭教育や家庭教育支援がどんなものであるのか、分からない方が多いのが実情です。家庭教育支援を地域に根付かせるよう、是非この事業は長く続けていいただきたいと思います。
- ・平成 24 年度までモデル地区で事業を推進し、29 年度からは全ての公民館区で事業を開催するとのことですが、各地区の特色をいかながら、是非有効な取組を期待したいと思います。
- ・家庭教育支援フォーラムの基調講演やグループディスカッションの内容は、地区活動者にとって次につながる情報になると思います。全15地区での取組が開始されたことを機に、今後は、他地区との意識・情報の共有を図っていけるよう支援事業は続けてほしいと思います。

【基本方針5に対する点検・評価委員からの総括的意見】

○児童・生徒の不登校や問題行動などの背景には、家庭環境や子育てに関わる問題が隠れていることが多いのではないのでしょうか。その問題を PTA とともに考えていくことが、今後とても大切になってくると思います。事業の趣旨をよく理解した上での実践が大切であると思います。

○経験上、情報の発信・提供が何より P T A や各家庭で喜ばれていたと感じます。より効果的な各事業の推進を希望します。

基本方針6 地域全体で子どもを守り、育てる機運を高め、地域社会の教育力の向上に努めます。

6-①

青少年非行防止活動事業

【青少年教育相談センター】



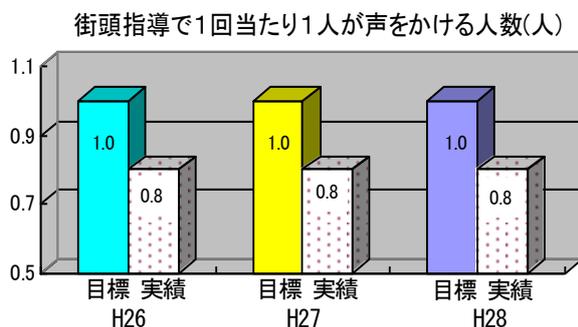
事業概要

青少年の非行防止のため、青少年相談員や社会教育指導員などが繁華街等を巡回し、声かけ指導を行います。また「心と街のクリーン作戦」などの啓発活動を実施します。

平成 28 年度実績

- ・ 青少年健全育成のため、環境浄化活動としての「心と街のクリーン作戦」 309 人参加
- ・ 青少年相談員が青少年の薬物乱用防止を呼び掛ける「愛の一声みちびき運動」 15 公民館で 73 人参加

成果指標



成果と課題・今後の取組等

「心と街のクリーン作戦」では、実行委員の高校生・大学生を中心に、世代を越えた交流のなかで有意義な活動を行うことができました。今後も、参加者への周知方法など課題の改善を図っていきます。

「愛の一声みちびき運動」では、各地区で啓発活動を展開し、地域の青少年の非行防止につながりました。今後も、啓発チラシなどの配布を工夫している地区の実践を情報交換するなどして、活動の更なる充実を目指していきます。

委員からの意見

・ 年間を通して行う街頭指導活動は、問題行動の早期発見、未然防止に大きな成果を上げていると思います。街頭での声かけは、日常の中で減ってきている地域の中での声かけにも影響するところだと思います。「心と街のクリーン作戦」には高校生・大学生など、これからの日本をつくっていく若い世代が多く参加していて、大変将来性がある活動だと思います。「愛の一声みちびき運動」も大変素晴らしい活動ですが、参加人数が少ないのが残念です。参加数を増やす導きをお願いしたいと思います。

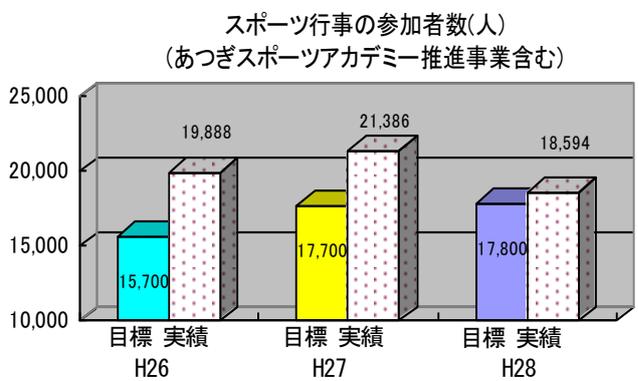
【基本方針6に対する点検・評価委員からの総括的意見】

- 街頭指導やこうした啓発活動は、市の非行防止に取り組む姿勢として、犯罪を抑止することにもつながります。事業の継続・拡大を希望します。
- 「地域全体を守り、育てる機運を高め・・・」という基本方針は、地域づくりにはとても重要なテーマだと考えています。各地区単位（地区公民館）でも実践していることはもっとたくさんあると思いますので、実践事業を募って予算を付けることも大切だと思います。年間を通して継続した活動にもつながり、地域で地域の子どもを育てる気運を高めることにもなると思います。

基本方針7 スポーツや文化活動の振興を図り、活力ある地域づくりを推進します。

7-①	市民スポーツ活動推進事業	【スポーツ推進課】
事業概要		
		
平成28年度実績		
参加人数 ・スポーツなじみDAY 1,389人 ・2017WBCパブリックビューイング 87人		

成果指標



成果と課題・今後の取組等

パブリックビューイングなど、市民ニーズをとらえた事業を展開したことにより、スポーツ人口の増加と生涯スポーツの推進・発展に寄与しました。

また、今後も市民ニーズを的確に捉えた事業内容を検討するとともに、事業PRに様々な手段を講じ、市民に十分浸透する事業展開を構築していきます。

委員からの意見

- ・今後も市民のニーズに合った様々な企画を考えていただきたいと思います。
- ・近年の健康志向や高齢者のスポーツ愛好家の増加により、市民がスポーツに親しめる機会を数多く提供してもらうことはうれしい限りです。参加者数も大変多く、新しい参加者獲得のための工夫をこれからも希望します。また、障がいがある方が行うスポーツに対して、理解を促し、市民全体で支援をしていく必要があると思います。今のところ、そのような取組が見えてきませんので、今後は、より積極的な取組をしてほしいと願っています。

7-② **あつぎスポーツアカデミー推進事業補助金** 【スポーツ推進課】



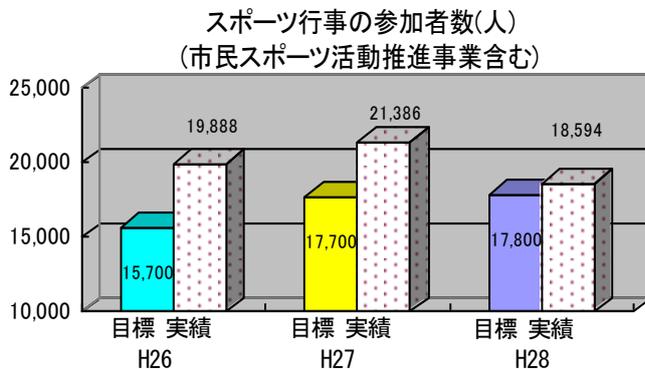
事業概要

(公財)厚木市体育協会が行う、あつぎスポーツアカデミー事業に補助金を交付し、生涯スポーツの普及・推進及びジュニアの育成や指導者の養成などを行います。

平成 28 年度実績

競技別市民選手権大会(27 種目)	6,868 人
スポーツ大会(8 大会)	5,657 人
元気アップスポーツフェスティバル	192 人
あつぎウォーク	455 人
スポーツ教室	2,163 人
指導者養成支援事業	542 人
スポーツ人のつどい開催	512 人
スポーツアカデミー	729 人

成果指標



成果と課題・今後の取組等

今後も(公財)厚木市体育協会に対して補助金を交付するとともに、本市のスポーツ推進のため指導助言を行っていきます。

また、市民への意識調査を実施し体育協会と連携をしながらトップアスリートの育成、指導者の養成及び市民スポーツ活動の推進を図っていきます。

委員からの意見

- ・全国大会などで活躍している方も多中、各スポーツの底辺を育てるための工夫や、特に小・中学生向けの企画などにも期待しています。
- ・スポーツは、心身の育成や充実のために必要なことは言うまでもありません。自身で行うスポーツも大切ですが、市民から優秀なスポーツ選手が生まれることは、地域が生んだ宝、宝石として、市の活性化にもつながっていきます。指導者やゲストの選考について更なる高みを希望します。

7-③

スポーツ振興基金積立金【スポーツ推進課】



事業概要

スポーツの振興に役立てるため、皆様からの寄附金などを積み立てます。

平成 28 年度実績

寄附金 1件(50,000円)
平成 26 年度 なし
平成 27 年度 2,547円

成果と課題・今後の取組等

平成 28 年度からあつぎ元気応援寄附金が大幅にリニューアルされ、寄附額が増加される見込みがあるため、今後スポーツ振興に役立てるよう有効に活用していきます。

委員からの意見

・スポーツ振興のための寄附金は金額の多さより、何人の人が進んで意義を認めてくれるか、だと思います。公表はしていると思いますが、寄附金の使い道をより明確にしながら、基金の必要性を周知していく工夫が必要だと思います。



事業概要

幼児から高齢者の幅広い世代に対し体力向上や健康増進を図る事業に対し、講師の派遣などを行いスポーツへの関心を高めスポーツ人口の拡大を図ります。

平成 28 年度実績

参加人数 1,218 人
 厚木南地区体育振興会研修会 21 人
 2016 スポーツキャンプ イン 日体大 23 人
 きれいな泳ぎ方教室 13 人
 荻野中学校部活動指導 57 人
 防犯スポーツ教室 28 人
 親子体力向上運動教室 71 人
 柔道初心者教員指導講習会 13 人
 睦合西公民館まつりトランポリン教室 200 人
 厚木市スポーツ推進審議会視察 10 人
 田中理恵先生の親子ふれあい体操教室 250 人
 あつぎスポーツアカデミー日体大ソフトテニス
 部体験練習 27 人
 陸上教室 400 人
 剣道研修会 105 人

成果と課題・今後の取組等

平成 28 年度の新規事業として、多種多様な事業に年間を通して講師を派遣することができました。

派遣の対象を広くしているにも関わらず、申込みの多くは公民館などの事業であったため、より多くの事業で活用してもらえよう、庁内への事業 P R に努めるとともに、29 年度から全地区で実施することとなった地域ぐるみ家庭教育支援事業での当事業活用を図っていきます。

委員からの意見

・全国大会などで活躍している方も多い中、各スポーツの底辺を育てるための工夫や、特に小・中学生向けの企画などにも期待しています。

・今後のオリンピック・パラリンピック開催に向けて、住民はよりスポーツに関心を持つと思います。ニーズに合わせた研修を順次、行ってほしいと思います。一方、市民への P R 活動は十分とは言えないようです。公民館の事業と厚木市としての事業との区分けをはっきりとして、予算を効果的に使ってもらおうよう希望します。



事業概要

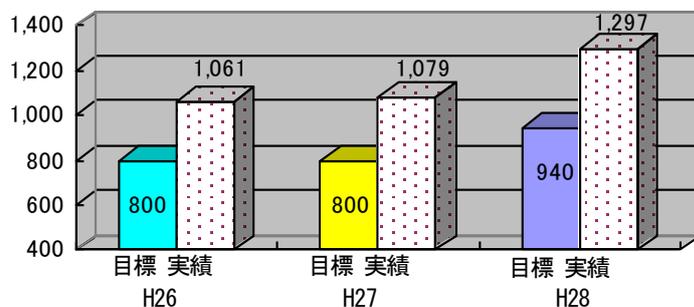
地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及・推進のため、地域のリーダーとしてふさわしいスポーツ推進委員の養成のための研修会などを行います。

平成 28 年度実績

スポーツ推進委員会議等開催 43 回 (622 人)
研究会・研修会 7 回 (212 人)
市等主催事業協力 7 事業 (463 人)

成果指標

行事など参加推進委員延べ人数(人)



成果と課題・今後の取組等

市民が気軽に親しむことのできるニュースポーツを中心に、各種目の専門的知識を養成するための研修会などを実施します。

また、スポーツを通して地域のネットワークやコミュニケーションの中心的存在として活動をする必要があるため、スポーツという枠を超え、必要に応じて講義・講習を進めていきます。

委員からの意見

- ・目標値を大きく超え、事業の順調さ、市民の意識の高さがうかがえます。どんな場合でもリーダーの存在は大切です。今後も事業を継続し、多くのリーダーを育てていただけたらと思います。また、今年度は地域ぐるみ家庭教育支援事業での活用も図られるとのこと。事業間でのこうした連携は素晴らしいと思います。
- ・スポーツは、地域のネットワークやコミュニケーションを育てるために大きな力を持ちます。また、地域のリーダーを育てることに寄与します。本事業は、実績値が目標値を大きく超えています。今後も充実した活動の実施を期待します。



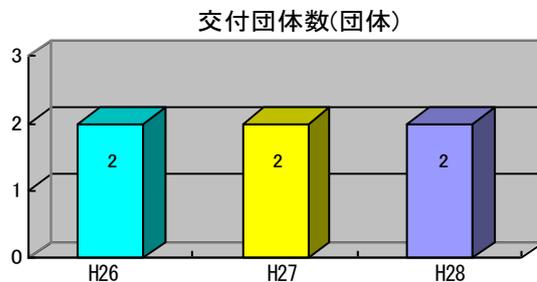
事業概要

競技力向上を図るため、競技団体が全国大会や県大会などに選手を派遣する際に実施する強化合宿及び強化練習会などの事業に対し、交付金を交付します。

平成 28 年度実績

交付団体数 2 団体
(県大会 2 団体)

過去 3 年の実績



成果と課題・今後の取組等

各競技協会において、事業PRするとともに、選手強化がより効果的に行えるよう事業内容について検討していきます。

委員からの意見

- ・こうした事業は、競技者にとって、負担軽減と同時に市の応援のもとで参加できるという安心感もあると思います。より広報に努め、多くの競技者に頑張っていたいただきたいと思います。
- ・競技力向上を図るために行った強化合宿の内容や強化練習会の様子などが、紹介される方法を検討してもらうことを希望します。



事業概要

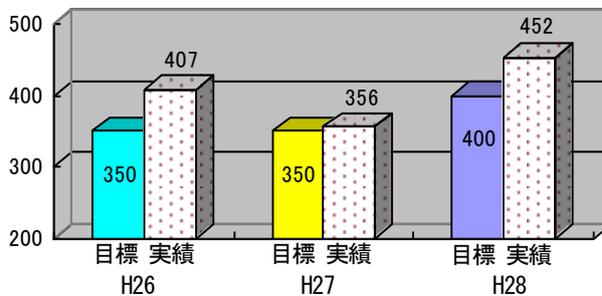
競技力向上を図るため、国際大会、全国大会に出場する市民の方々に対し、奨励金を交付します。

平成 28 年度実績

国際大会出場奨励金 7 件 (21 人)
 全国大会出場奨励金 119 件 (431 人)

成果指標

全国大会等出場者数(人)



成果と課題・今後の取組等

全国大会等出場奨励事業については、情報収集の能力を上げるとともに、この制度の周知を十分行っていきます。

委員からの意見

- ・こうした事業は、競技者にとって、負担軽減と同時に市の応援のもとで参加できるという安心感もあると思います。より広報に努め、多くの競技者に頑張ってもらいたいと思います。
- ・国際大会や全国大会に出場する市民に対して奨励金が交付され、意欲付けと負担軽減につながったと思います。このような制度により、選手も安心して競技に臨めると思います。昨今は、中学生の中にも世界で活躍するレベルを持つ選手が出てきています。また、最近では、ニュースポーツや東京オリンピックに採用される新しい種目など、多くの競技が始まっています。市内の選手もそれらに出場する可能性があるため、遺漏のない手続きを希望します。



事業概要

安心・安全な施設利用や機能性、快適性の向上のため、南毛利スポーツセンター体育館屋上の改修・塗装工事を行います。

平成 28 年度実績

玉川野球場 1 塁側防球ネット改修地盤調査委託及び設計委託、下川入サッカー場ほか進入路舗装工事測量委託及び実施設計委託、南毛利スポーツセンター体育館消火設備改修及び屋上・屋根改修工事を実施

成果と課題・今後の取組等

スポーツ施設の利用環境向上のために、更なる整備を実施していきます。

委員からの意見

- ・スポーツや文化活動にとって、施設の問題は大変重要になると思います。「環境は人を作る」との言葉があるとおりに、施設の充実は新たな文化を生み出し、心豊かな充実した生活を送ることにつながると思います。積極的な取組を希望します。
- ・市民がスポーツを安全かつ楽しく行うために、老朽化した施設・設備は、順次改修していただきたいと思います。また、子どもが不注意で怪我をしないよう周辺の整備も併せて希望します。

7-⑨

青少年広場整備事業

【スポーツ推進課】



事業概要

身近な所でスポーツ活動ができるよう、青少年広場及びその周辺を整備します。

平成 28 年度実績

上依知青少年広場等の進入路整地を実施

成果と課題・今後の取組等

スポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため、必要な整備を実施していきます。

委員からの意見

- ・スポーツや文化活動にとって、施設の問題は大変重要になると思います。「環境は人を作る」との言葉があるとおりに、施設の充実が新たな文化を生み出し、心豊かな充実した生活を送ることにつながると思います。積極的な取組を希望します。
- ・市民がスポーツを安全かつ楽しく行うために、老朽化した施設・設備は、順次改修していただきたいと思います。また、子どもが不注意で怪我をしないよう周辺の整備も併せて希望します。

7-⑩

公共用地取得事業特別会計繰出金 【スポーツ推進課】



事業概要

(仮称) 飯山グラウンド用地取得事業に係る市債償還として、元金及び利子分を特別会計繰入金に繰り出します。

平成 28 年度実績

計画通り起債償還を実施

成果と課題・今後の取組等

「厚木市スポーツ施設整備推進計画」の中で、飯山グラウンドなど今後検討を要するものについて、引続き協議を行うとともに、計画的な施設の維持、整備を行っていきます。

委員からの意見

・スポーツや文化活動にとって、施設の問題は大変重要になると思います。「環境は人を作る」との言葉があるとおり、施設の充実は新たな文化を生み出し、心豊かな充実した生活を送ることにつながると思います。積極的な取組を希望します。



事業概要

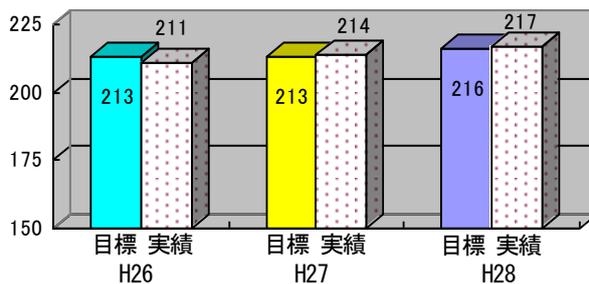
地域の特性をいかした各種事業を開催し、地域コミュニティの充実を図るとともに、学級・講座を通して教養の向上などを図ります。

平成 28 年度実績

「世代の課題を捉えた講座」「現代的課題に関する講座」「家庭教育の充実に関する講座」「地域の学習課題を捉えた講座」という4つの柱を設け、地域性をいかした多彩な事業を市内 15 地区で開催
全公民館参加者合計 14,769 人

成果指標

学級・講座の開催数(講座)



成果と課題・今後の取組等

地域住民の教養の向上や健康増進、情操の純化、更に生活文化の振興、社会福祉の増進などに寄与するために、それぞれの特性をいかした事業を計画し、学習活動を通して生涯学習のまちづくりを推進できました。今後も、内容の見直しや講座数の増加を目指しながら、質の高い講座を実施していきます。

委員からの意見

- ・まず、各公民館での様々な取組に敬意を表したいと思います。公民館や学校は地域の社交場とも言えると思います。地域の運動会や公民館まつりなど、様々な活動を拝見しましたが、幼い子からお年寄りまで、たくさんの笑顔を拝見できました。地域のコミュニティはこうしてつくられていくと実感しました。是非公民館活動への手厚い支援の継続を希望します。
- ・15地区 16館の地区公民館は厚木市各地区の要となる施設であり、機関です。市内各地区で独自に展開している公民館事業は全国的にも珍しくなり、全国に誇れる事業であると確信しています。その公民館を貸館としての利用だけにせず、自覚をもって地域づくりの中心となり、地域の社会教育の基盤になるよう強く期待します。
- ・市内の15地区がそれぞれ、4つの柱を受けた地域性・独立性のある講座を延べ200回以上行っています。他の自治体では見られない学級・講座数の多さ、質の高さを誇っていると思います。今後も、4つの柱を見直しながら、住民のニーズに応える講座を希望します。



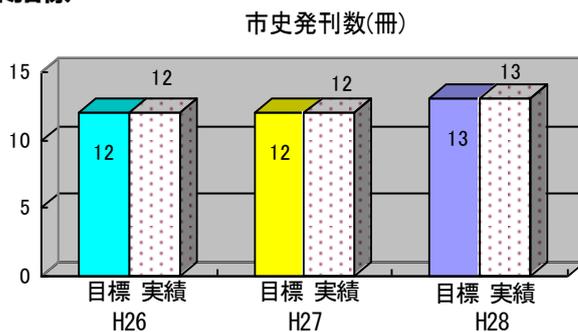
事業概要

本市の歴史の変遷を後世に継承するため、歴史資料の調査、収集、分類及び整理を行い「厚木市史」等を発刊します。

平成 28 年度実績

- ・『厚木市史』民俗編（2）の発行（A5判 642頁）
- ・『厚木市史たより』15・16号の発行（A3二つ折、各 1,500部）
- ・市史歴史講演会「経済的拠点としての江戸時代の厚木」の開催（7/17、参加者 200人）

成果指標



成果と課題・今後の取組等

平成 28 年度は、市史本編 13 巻目の発刊となる『厚木市史』民俗編（2）を発行しました。市史編さん事業では、『厚木市史』の本編 13 巻、『厚木市史資料叢書』1～11、『厚木市史たより』1～16号などを発刊しています。今後は、市史編集委員会委員などによる執筆体制の充実を図り、着実に発刊をする努力をします。

また、多くの方に事業を知っていただくため、歴史講演会や市史歴史講座の開催のほか、『厚木市史たより』の発行を継続して実施します。

委員からの意見

・市史は、歴史の変遷を後世に伝えていく、大変貴重な資料です。これまでに本編 12 巻を始め、膨大な資料がまとめられました。平成 28 年度には、本篇 13 巻目を発行できました。地道な努力に対して敬意を表します。市史は編さんだけでなく、講演会や講座など多くの事業に活用されています。今後も、編さんを継続していただくとともに、より多くの市民に市史の存在を知らせてもらえればと思います。



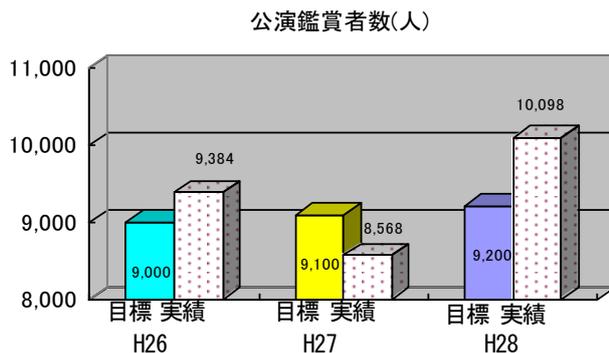
事業概要

厚木市の誇るべき郷土芸能を後世に継承するため、児童・生徒を始め市民の方々が鑑賞できる機会を数多く設けます。また、後継者育成のため体験教室や郷土芸能学校を開設します。

平成 28 年度実績

郷土芸能公演鑑賞者数 10,098 人（郷土芸能まつり鑑賞者数 545 人、郷土芸能普及公演鑑賞者数 4,105 人、郷土芸能出前体験教室体験者数 239 人、郷土芸能学校受講者数 31 人、郷土芸能イベント等鑑賞者数 5,178 人）
郷土芸能学校開催回数 20 回（義太夫三味線）
郷土芸能出前体験教室開催回数 13 回

成果指標



成果と課題・今後の取組等

郷土芸能を普及・継承するため、平成 28 年度児童・生徒を始め、市民の方々が鑑賞する機会である普及公演は、対象を従来の小・中学校や高等学校、大学、公民館に加えて認可保育所にも広げたことにより、平成 27 年度に比べ 9 公演の増加となりました。また、公演鑑賞者などの数も前年と比較して、1,530 人の増加をみる事が出来ました。更に、県下の団体が一堂に会する相模ささら踊り大会及び相模人形芝居大会の幹事市として広く郷土芸能の普及啓発に努めることができました。今後は、公演の機会を広げ、後継者を育成するために、広報活動に工夫を凝らして貴重な郷土芸能を子孫へ継承するよう努力します。

委員からの意見

- ・年を追って、実績値が向上しています。関係者の努力に敬意を表します。学校では「総合的な学習の時間」が導入されたとき、郷土芸能に注目し、取り入れた学校があったと思いますが、そのときに、厚木市にはこんな多くの郷土芸能が存在したことに驚きました。郷土の誇りとしての芸能が次世代に引き継がれていくことを切に願います。その意味でこの事業は大変重要な役割を果たしていると思います。発展的な事業の継続を期待しています。
- ・郷土芸能は、それぞれの地域で意義のあるものです。今後、厚木市を担う子どもたちや厚木市に新しく来られた方も含め、厚木市をふるさととして思い、大切にするために、鮎まつりや厚木中央公園のイベントなど様々な場面で活用し、普及してほしいです。平成 28 年度は、認可保育所での講演や相模ささら踊り・相模人形芝居大会として、広い取組が行われたことは大いに評価できます。

**事業概要**

郷土文化の新たな活動拠点、文化財資料の収蔵などの機能を担う施設として、(仮称) あつぎ郷土資料館の建設を進めます。

平成 28 年度実績

- ・ 外部の有識者からなる (仮称) あつぎ郷土資料館検討委員会の開催 (3 回)
- ・ 建設実施設計
- ・ 展示設計
- ・ 旧校舎の解体
- ・ 埋蔵文化財事前調査の実施

成果と課題・今後の取組等

(仮称)あつぎ郷土資料館の平成 30 年度中のオープンを目途に、10 月以降、建築工事に着手、展示製作委託、移転に伴う資料移動準備などを実施します。

自然園の運用を含む、開館後の管理・運用、オープニング展示、講演会などイベント企画について、関連団体、庁内関連部署などと連携を図り検討を進めます。

委員からの意見

・ 貴重な資料は次世代の活動を支える大事な助言とも言えます。特に、学校教育での郷土学習が充実することを期待します。

・ 様々な政策調整によりこの場所での建設が決定したと考えています。平成 29 年 10 月から工事に着工とのことですが、魅力的な資料館経営を望みたいと思います。また、これまで職員が学校へ出前授業をしていただいておりますが、併せて郷土資料館への見学についてもこれまで以上のアイデアが求められると考えます。小学校では宮ヶ瀬ダムへの校外学習が行われていますが、郷土資料館への行程を提案できると良いと思います。

・ あつぎ郷土資料館建設の意義をより住民に周知していく必要があります。器だけでなく、中身を充実させるため、完成後の運用についてもより長いスパンでの見通しを持つために、検討委員会などの斬新なアイデアを望みます。

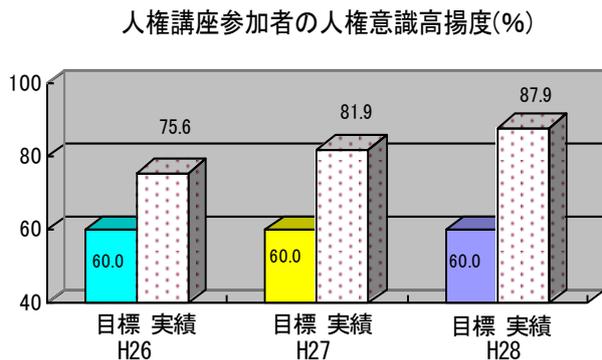
【基本方針7に対する点検・評価委員からの総括的意見】

○スポーツや文化活動は市民の絆を深めるとともに、心豊かな生活を創造できる大事な要素です。生涯学習の観点からもこの分野の事業の継続・拡大を望みます。

基本方針 8 人間尊重の精神を基盤とした人権教育の充実を図ります。

8-①	人権教育・啓発推進事業	【社会教育課】	
			事業概要
<p>市民の方々に、人権に対する意識をより高めていただくため、「ヒューマン・カレッジ」（人権講座）などを開催するとともに、人権について積極的に啓発します。</p>			平成 28 年度実績
<p>ヒューマン・カレッジ（人権講座）参加者数 197 人 第 1 回「子どもとメディアの良い関係」 第 2 回「デートDV 予防ワークショップ」 第 3 回「あつぎヒューマンライツフェスタ」</p>			

成果指標



成果と課題・今後の取組等

第 3 回目を市民協働推進課が主催するヒューマンライツフェスタと同時開催し、中学生人権作文の優秀作品朗読や受賞者を交えたディスカッションなど、身近な人権に対する理解を深めることができました。

今後も、よりニーズに合い、現状に即した人権問題について、参加しやすいテーマ設定を心掛け、講座を開催します。

委員からの意見

・これまでの啓発活動から、人権問題に関する知識はかなり広く厚木市民に息づいていると思います。子どもは大人の姿を見ながら育ちます。知識だけではなく行動できる市民となるよう、大人に対しても活発な啓発活動を望みます。例えば、あつぎビジョンなど、厚木市を訪れる一般の人に届くよう、工夫してほしいと思います。

【基本方針8に対する点検・評価委員からの総括的意見】

○昨年度・今年度も目標値を上回る結果に、厚木市民の民度の高さがうかがえます。人権教育は学校教育でも積極的に取り組んでいることと思いますが、大人も模範となるべく正しい人権意識を持つべきだと思います。基本方針の締めくくりに位置するこの方針は全体を貫くテーマだと思います。よりタイムリーな活動を期待します。近年は、LGBT（性的少数者）の問題も学校現場では取り組んでいるようです。

○方針のテーマにしては、1事業では少なすぎます。厚木市全体で行うことも大切ですが、地域社会の教育力向上の面からも、地区公民館が要となった人権教育の充実をもっと積極的に展開すべきだと思います。

